

說三田
孫三郎
著

三文類編

全

特34

161

自 函 架 號	大田本館			東 斤
	三	三	三	
	一 冊	三 架	五 函	

野村煥閣正
說田孫三郎著

記文及
類語附

作文類編

版權免許 成美堂發兌

例言

一世に尺牘の書頗る多志と雖も其文高尚
小涉り童蒙初學に便あり其故も今
童蒙の解と易幾日用に後の文毎十
を編し傍に類語を示し以て初學の階
梯とし之を名法とて作文類編といふ
然も少母唯其一端を擧るはと看者宜
志く其意を擴充して可なり

野村煥園正
說田孫三郎著

記文及
類語附

作文類編

版權說明

成美堂發行

例言

一世に尺牘の書頗る多き雖も其文高尚
 小涉り童蒙初學に便なき事故に今
 童蒙の解し易き日用は復の文數十
 を編し傍に類語を示し以て初學の階
 梯とし之と名はるべく作文類編といふ
 然るに母唯る一端を擧るはと看者宜
 志く其を擴充して可なり

一方今小學は教日旺盛に赴き邑に不学
の戸多し家不學は子弟如く既々山村
僻地と雖も下等小學を卒業する生徒
數志望多し第一二級に至りては私用
文は授業あり生徒退校の際毎日授かり志
作文乃言を志す父兄小質を以て父兄志す
者此一書を備る家産は教と等閑せし
子弟進學は裨益を以て

聖意の萬分一を報答せしに庶幾らむ
一卷首類語の中凡て御字と据るは先方と
敬ふなり自身を用ふ時を御字と省
之るは且文通ハ面晤ハ代る矣用字終
必しも博り誇るは具は非を猥に奇語と
挿し文意恣僻ハ涉述ハ希て書志きよ
する邊を求むものなり
一凡て卷中舉る所の童蒙階梯の爲は

を示さるは形如くも恐くも疎略と免り
さしむ幸は訂正あるも事なきを

明治十年晩秋

祝田孫三郎識



作文類編

目錄

歳首之文

一ノ丁 同返事

三ノ丁

寒中見舞之文

五ノ丁 同復

六ノ丁

借新聞紙文

八ノ丁 入學を乞ふ文

九ノ丁

小學入校を賀する文

十ノ丁 同返書

十二ノ丁

觀雪誘引之文

十三ノ丁 看梅誘引之文

十四ノ丁

同答

十六ノ丁 春日郊行を促す文

十八ノ丁

花見誘引ハナミイウイン之文

十九 同返書コシヨ

二十

誘引イウインを辞シする文

二十 旅行リョウ餞別カウゼンベツ之文

二十一

同返事ヘンシ

二十一 時計トケイ注文チウモシ之文

二十二

開店カイテン風聴フイカキウ之文

二十二 新茶シンチャ注文チウモシ申遣ツカハ之文

廿七

友人イウジンを招マシく之文

廿八 同返翰コシカン

二十九

梅雨バイウ安否アンビを尋タツルる文

三十 螢狩ホタルカライウイン誘引イウイン之文

三十一

暑中シヨチウ見舞ミマヒ之文

三十一 同回復ドウフク

三十四

書籍シヨセキを借カる人コタフ答コタフる文

三十一 面談オウダンを約ヤクする文

卅七

書画シヨグハ鑑定カンテイを請コふ文

三十一 金子キンヌ借用シヤクヨウ之文

三十九

同返事コシ

三十一 外甥グアイセイへ異見イケン之文

四十一

新聞紙シンブンシ注文チウモシ申遣ツカハ之文

三十一 歸郷キキヤウ為知セシラ之文

四十二

故郷コキヤウ之兩親リヤウシン贈オクる文

三十一 祭禮サイレイ人を招マシく文

四十三

退隱タイイン後人ゴジン與アタフる文

三十一 看月クワンゲツ宴エン催促サイソク之文

五十一

同答コタヘ

三十一 海外カイガイ在アる友人イウジン贈オクる文

五十二

醫イを乞コふ文

三十一 病氣ビョウキ見舞ミマヒ之文

五十六

誓チカ姻インを賀ガスする文

三十一 同返事コシ

五十八

留主見舞之文

手賀出産文

六十丁

同回報

博覽會誘引文

六十三丁

菊花を贈る文
答る文
奉天長節人を招く文

六十五丁

借財日延を頼む文
奉新營祝状

六十七丁

看楓誘引答る文
奉歳末之文

六十九丁

同返書
奉死を悼める文

七十二丁

火事見舞之文
奉

通計五十七章

鼈頭目録

尺牘摘語一丁ヨリ

文中雜語

春ノ部 十八丁ヨリ 夏ノ部 二十二丁ヨリ (納涼)

(看蓮)

秋ノ部 二十五丁ヨリ (觀月) (觀楓)

冬ノ部 二十八丁ヨリ (賞雪)

婚姻 三十丁ヨリ 生誕 三十二丁ヨリ

仕官 三十三丁ヨリ (不遇) 新居 三十八丁ヨリ

壽賀 三十九丁ヨリ 送別 四十二丁ヨリ (客中)

讌宴 四十二丁ヨリ (薄具) 贈花 四十四丁ヨリ

祝日 四十五丁ヨリ 疾病 四十七丁ヨリ

喪葬 四十九丁ヨリ 火災 (盜難) 五十一丁ヨリ

四季稱候 五十三丁ヨリ

人倫名稱 五十五丁ヨリ 品物名數 五十七丁ヨリ

月之異名 六十丁ヨリ 助字畧解 六十二丁ヨリ

以呂波引 六十四丁ヨリ

附錄

記文并類語

摘語

- 以手札啓上テガミヲテ
- 一書捧呈ヒトツキヲホコシテ
- 一簡肅啓ヒトツキヲシラセテ
- 尺書ヒトツキ
- 片呈ヒトツキヲシラセテ
- 短簡拜啓ヒトツキヲシラセテ
- 片簡謹啓ヒトツキヲシラセテ
- 片楮啓達ヒトツキヲシラセテ
- 恭修寸楮ヒトツキヲシラセテ
- 恭裁寸箋ヒトツキヲシラセテ
- 敬修短札ヒトツキヲシラセテ
- 一筆ヒトツキ
- 愚札ヒトツキ
- 飛札ヒトツキ
- 片札ヒトツキ
- 一翰ヒトツキ
- 尺素ヒトツキ
- 以郵信ヒトツキヲシラセテ
- 以手紙ヒトツキ
- 貴札ヒトツキ
- 拜見ヒトツキ
- 采雲ヒトツキ
- 採拈ヒトツキ
- 貴ヒトツキ

作文類編

說田孫三郎著

歲首之文

履端、御慶、目出度

中納言先以貴家蓋

康猶、歲、起、歲、恭

墨梓讀○華墨梓覽○
 芳墨捧讀○雲箋梓展○
 ○華翰披見○玉章薰
 誦○尊書謹讀○御手
 書梓閱○芳書○貴簡
 ○華札○朶簡○御紙
 面
 □如貴命○如貴
 論○如高論○如示論
 ○來論○尊論○來命
 ○如仰
 □貴兄○貴契○

嘉牙之堂于河冰裝家
 宗志如能佳也輝所
 降通可示以客歲主
 不下方其恒在學感
 佩之至在類環及所日主
 之樣中者其在先之去來

老兄○詞兄○雅契○
 雅兄○盟兄○仁契○
 老臺○老大○盟臺○
 尊君○蘭契
 □高堂○人人居所
 ○高門
 ○高館○高居○崇牖
 ○文館○貴館○貴家
 ○華堂○闔門○御門
 御渾家○御滿堂○御
 全宗○御全家○各位
 □益御佳適○倍御安

南之河社月上後捧
 思礼在餘主水好款
 正申誠在也如謹拜
 ○鳳曆之嘉瑞千里同軌○改曆之慶祥
 日出度申納也○曆頭之佳儀日出度申
 籠候○履陽之禎祥万國同慶○先以御
 闔家益御清祥被成御重算候條奉欣賀
 候○御全家益御萬福御迎歲奉恐賀候
 ○御渾家補淨佳祥被成御加齡候段奉

作支頭編

泰○愈御清祥○福御
 安全○御清適○御清
 穆○御壯健○御壯
 榮○御佳祥○御
 多祥○御祥身○御万
 福○御安靜○御安寧
 ○御平善○御健全
 □貴容○尊體○
 御容粹○御動定○御
 動靜○御動止○御容
 子○御近况○御消光
 ○御消息○御模樣○

拜賀在○高門益御康裕被為閑壽域奉
 恭賀候○次弊家一同迎歡罷在候間乍
 憚に放念可被下候○次弊舎無異加算
 仕候間乍憚御休神可被下候○隨而陋
 屋安然踰年仕候マ、御休意可被下候
 ○茅屋無恙加馬齡に乍憚御放懷可被
 下候○陳と鴨二翼聊春禧に驗迄奉入
 貴覽候○陳と郵便切手五十葉聊祝年
 に驗迄進呈仕候○梅花福壽草之盆裁
 祝辞旁呈進仕候○履新に祝辞迄寸箋
 を呈し候○年南之祝賀申伸度○新稔之
 慶賀申上度○履新に御祝辞聊表芹意

御眠食○御起居
 □恐賀○拵賀○
 大賀○欣拵○欣躍○
 拵舞○不堪雀躍○不
 禁拵躍○慶賀此事候
 □次々ニ
 □僕我身○野生○小
 生○野拙○下拙○迂
 生○愚夫○鯁生○小
 弟○不肖○不佞○私
 □弊家我○弊屋○
 弊廬○茅舎○蓬門○

候○新禧に敬賀申上度呈寸楮候○書
 餘永日を期し候恐惶謹言○猶暖和
 候を期し候恐々謹言○猶期芳草連天
 に時を恐惶再拵○餘も永日拜眉之節
 と申洩し候頓首○猶期永陽に時を恐
 懼再拜○書外期青陽和風に時を恐惶
 誓首

同五奉

如貴所賜
 陽曆
 之表
 存

蝸屋

無異シ○無異儀シ○
無恙シ○無別シ○無異シ
變シ○無事シ

御休シ○御休シ○御休シ○御
降神シ○御放念シ○御放
懷シ○御省懷シ○御省慮
書外シ○書餘シ○書餘シ
餘シ○餘緒シ○期拜シ○
期後音シ○期面晤シ○
拜芝シ○拜謁シ○讓シ○

拜晤シ○節シ○拜願シ○拜
面シ○拜接シ○修謁シ○執
謁シ

萬端シ○縷シ○萬縷シ○
萬緒シ○縷シ

以上シ○結尾シ○頌首シ○百
拜シ○九拜シ○敬白シ○
謹白シ○恐々シ○謹言シ○
沐再拜シ○勿々シ○不盡シ○
不悉シ○不備シ○不具シ○

草々シ○走筆シ○闕シ

愛護中納高格無所
士榮に増氣すお察
隨多始息一回年加
算付込時中敬慮
可及降は去歲中も
種はに懇す成下年

末は厚花下りし愛
都而中敬極懇惚
至は先之新年
拜祝中も各々お祈
社は公々謹白

○如教示履端萬壽○如來諭肇年慶賀
無限奉存候○如仰新年に御吉兆遐述

筆^{ヒツ}フデヲ

□貴酬^{キキウ}○貴復^{キキフク}○

貴報^{キキウ}○貴答^{キキコタヘ}○肅復^{ソウフク}○

頌復^{ソウフク}○裁答^{サイコタヘ}○奉酬^{ホウキウ}○

奉復^{ホウフク}○梓答^{シバコタヘ}○梓復^{シバフク}○

附答^{ツケコタヘ}○

□左右^{サウヤウ}○附^{ツケ}○坐石^{ザシタ}○

侍史^{シヤシ}○机右^{キイウ}○梧下^{キカ}○

執事^{シツジ}○台展^{タイケン}○閣下^{カクカ}○

足下^{ソクカ}○案下^{アンカ}○侍童^{シヤドウ}○

御披露^{ミキリウ}○御手披^{ミテヒ}○御

同軌愛度申納^{ドウキ}○如高諭新禧萬福御

同然日出度奉存候^{ドウゼン}○貴館益御清福被

成御迎新南山奉賀候^{ナリミ}○高堂益御安康

御重齡奉雀躍候^{ミカド}○大厦御揃^{オホウチ}起歲候

條茶喜無涯候^{ジョウチャ}○御全家益御繁榮^{ミケ}迎

壽奉梓賀^{スウホウ}○隨而拙家依旧加馬齡候

間御省慮可被下候^{マヒ}○芳檐無異儀迎歲

仕^シ間^{マヒ}作憚^{シヤマン}注安意可被下候^{シヤマン}○然^{シカ}主^{ヌシ}重

寶之品々御惠贈被下難有奉謝^{タカラ}○先^{マサ}主^{ヌシ}

新年敬賀貴酬^{シニヤ}迄如斯^{シニヤ}○何寄之品

為御年玉注惠投辱奉存^{ミトシ}○年甫^{トシ}賀詞

直披^{チキヒ}

□再伸^{シヤノビ}○副啓^{ソウキ}○

追啓^{ツイキ}○別啓^{ベツキ}○再啓^{シヤノビ}○

二白^{ニハク}

□不煩^{フレン}時^{トキ}候^{ケル}○

兎角不煩^{トウカク}時^{トキ}氣^キ○不

定^{サダメ}時^{トキ}序^ヨ○時^{トキ}中^{ナカ}失^{ウシ}序^ヨ

○煩氣^{ワヅキ}惡^{アク}敷^ク

□随分^{ズイブン}御^ミ加^カ養^{ヤウ}○

御保重^{ミホウジヤウ}○御保^{ミホウ}護^ゴ○御

自愛^{ジアイ}○御愛^{ミアイ}護^ゴ○御養^{ミヤウ}

護^ゴ○御厭^{ミイヤム}○專^{セン}一^{イチ}○專^{セン}

御禮儀

為嘉儀種々蒙厚賜奉多謝^{カキギ}○近日參
上御祝辭可申述^{カミミガヒ}○得共先御報^{カミミガヒ}○
如此注座^{カシコト}○私^シ主^{ヌシ}早速慶賀可申上
之處却而芳訊^{トコロ}○蒙奉恐懼^{カミミガヒ}○猶期和
風麗日^{カゼ}時^{トキ}主^{ヌシ}恐悚梓復

寒中見舞文

嚴寒^{ゲンカン}之^ノ候^{ケル}○
作^{シヤス}山^{ヤマ}家^カ益^{マシ}所^{トコロ}

佳^{カキ}適^{トク}成^{ナリ}○
勅^{チク}辭^ジ奉^{ホウ}

要

○乍未○乍未筆○乍未

未墨

○御傳言○御傳

聲○御鶴聲○御鳳聲

○御致聲○御雷聲

○其後○打絶○久

々○絶而○久敷

○格別御無音

○存御跡潤○尔思御

○疎遠○格外御無沙汰

○契潤

○御海怒○御仁

○御海容○御寛宥

○御赦免○御許容

○御依頼○御周旋

○御取斗

○惠贈○惠投

○惠興○厚贖○寵賜

○御贈典○御投惠

○難有○辱○千萬

○拝謝○多謝

○萬謝○千謝○深謝

○御厚禮

折取^{ツク}の^カ進^ジ来^{ライ}の^{ハシ}勢^セ
 取^{トリ}付^{ツキ}疎^ソ懶^{ラン}の^シ死^シ多^タ
 謝^{シヤ}の^シ不^フ禮^レの^シ多^タ
 此^{コノ}の^シ洋^{ヤク}酒^{シユ}二^ニ堪^タ守^モ
 中^{ナカ}為^ニ候^{ケル}以^テ致^ス就^{ケル}仕^ス
 口^{クハ}矢^ヤ納^ナ帯^{タイ}の^シ方^{カタ}交^カ
 下^{シタ}海^{カイ}の^シ相^{サウ}可^カ年^{ネン}の^シ保^ホ護^ゴ
 専^{セン}今^{イマ}の^シ海^{カイ}の^シ能^ネく^シ好^{コト}
 好^{ハイ}眉^{メイ}の^シ好^{コト}首^{シユ}

下^{シタ}海^{カイ}の^シ相^{サウ}可^カ年^{ネン}の^シ保^ホ護^ゴ
 専^{セン}今^{イマ}の^シ海^{カイ}の^シ能^ネく^シ好^{コト}
 好^{ハイ}眉^{メイ}の^シ好^{コト}首^{シユ}

○此品粗末、候得共時候御見舞上
 て懸江目度御笑留奉希也○常々ハ意
 外之津疎遠は饒怒可被下候時氣は動
 静奉伺也○鶏卵一箱近日御起居奉窺
 度奉入貴覽候○水鳥一雙時氣為江見
 舞進呈仕度津笑納被下上り幸甚○

□御同遊○御同行○
 御同杖○御提携○陪
 遊○陪從○隨從○驥
 附
 □御閑暇○御閑
 適○御閑日○御閑隙
 ○御寸暇○御寸隙○
 御手透○
 □御談判○御
 議○御熟議○御熟談
 御論判○御合議○御
 面談

□委敷○委細○
 委曲○委詳○委緒○
 巨細○詳細○
 □兼○了兼○
 諒承○承諾○領承○
 諒審○拌承○敬承○
 □無御速慮○
 無御隔意○無御斟酌
 ○無御覆臆
 □御懇情○御懇
 志○御深情○御厚情
 ○御厚志○御厚意○

御上之進呈は侍候
 御申上候
 御上之進呈は侍候

○時氣為御尋水鳥二羽御贈與預り難
 有拌味可仕候○此程培養仕候盆梅漏
 春光に付御返禮に御進奉入高覧候○
 時候為御見舞御叮嚀種々御贈與被
 下芳志不淺拌受仕候○餘に御厚禮拌
 謁之節に譲り早々折角時季に加養

一奉祈念候

借新聞紙文

寸簡拵路此に生
 少風邪に御針葉
 是波冠を為之に依り
 近御厚意に速

御心切
 □御煩雜 ○御混
 雜 ○御繁多 ○御繁
 御多忙 ○御多端 ○御
 繁鬧
 □迷惑 ○當惑 ○
 困却 ○困難 ○窮蹙 ○
 □心配 ○心痛 ○
 焦慮 ○苦心 ○配慮 ○
 □故障 ○苦情 ○
 異存 ○異議
 □賢考 ○御一考

新聞紙を天下に耳目必讀の儀御座
 存に固陋頑愚を醫る良薬如くと
 存に毎度ながら御過覽に二三葉
 拝覽致度と過日恩借に分返壁猶ほ
 電覽濟御座候に拝借相願に文中
 浅學而了解難致簾往々有之に間追
 質向相願度に寒村僻地而も江湖
 之形勢獨新聞を待而已御座に

新聞紙を天下に耳目必讀の儀御座
 存に固陋頑愚を醫る良薬如くと
 存に毎度ながら御過覽に二三葉
 拝覽致度と過日恩借に分返壁猶ほ
 電覽濟御座候に拝借相願に文中
 浅學而了解難致簾往々有之に間追
 質向相願度に寒村僻地而も江湖
 之形勢獨新聞を待而已御座に

新聞紙を天下に耳目必讀の儀御座
 存に固陋頑愚を醫る良薬如くと
 存に毎度ながら御過覽に二三葉
 拝覽致度と過日恩借に分返壁猶ほ
 電覽濟御座候に拝借相願に文中
 浅學而了解難致簾往々有之に間追
 質向相願度に寒村僻地而も江湖
 之形勢獨新聞を待而已御座に

○御熟考 ○御勤辨 ○
 (以下) 愚考 ○愚案 ○
 愚慮
 □恐察 ○拌察 ○
 遠察 ○想像 ○御洞察
 ○御推察 ○御憐察 ○
 賢察
 □寵招 ○佳招 ○
 陪進 ○御招
 □參殿 ○參堂 ○
 參上 ○叩扉 ○推參 ○
 昇堂 ○昇殿 ○參館 ○

新聞紙を天下に耳目必讀の儀御座
 存に固陋頑愚を醫る良薬如くと
 存に毎度ながら御過覽に二三葉
 拝覽致度と過日恩借に分返壁猶ほ
 電覽濟御座候に拝借相願に文中
 浅學而了解難致簾往々有之に間追
 質向相願度に寒村僻地而も江湖
 之形勢獨新聞を待而已御座に

新聞紙を天下に耳目必讀の儀御座
 存に固陋頑愚を醫る良薬如くと
 存に毎度ながら御過覽に二三葉
 拝覽致度と過日恩借に分返壁猶ほ
 電覽濟御座候に拝借相願に文中
 浅學而了解難致簾往々有之に間追
 質向相願度に寒村僻地而も江湖
 之形勢獨新聞を待而已御座に

新聞紙を天下に耳目必讀の儀御座
 存に固陋頑愚を醫る良薬如くと
 存に毎度ながら御過覽に二三葉
 拝覽致度と過日恩借に分返壁猶ほ
 電覽濟御座候に拝借相願に文中
 浅學而了解難致簾往々有之に間追
 質向相願度に寒村僻地而も江湖
 之形勢獨新聞を待而已御座に

趣赴

□長談ナガシ ○長坐チガシ

□清坐セイザを汚ケガ ○

妨尊サマシ暇ヒマ 汚清談ケガシイダシ

□嘉儀カギ ○佳儀カギ ○

御祝辞ミツグハシ ○御祝詞ミツグハシ ○御

祝儀

□贖儀ジシギ ○贈餞ソウゼン ○

薄贖ハクゼン ○贈送ソウサウ ○御贖ミツクハシ ○

御餞別ミツクハシ

□懇望コンバウ ○冀望キバウ ○

企望キバウ ○仰望オウバウ ○渴望カウバウ ○

景仰

□感服カンブク ○感入カンジュ ○感

激ゲキ ○感嘆カント ○感賞カシヤウ ○感

佩ペイ ○感徹カントウ

□賞玩シヤウワン ○賞味シヤウミ ○

賞シヤウ 覽ワン ○賞美シヤウミ ○賞賛シヤウサン ○

賞覽シヤウワン

□御怒意ミツコノイ ○御馴染ミツコノシ ○

御知已ミツコノチ ○御入魂ミツコノマタマ ○御

別懇ベツコン ○御心易ミツココロ

□謝罪シヤクザイ ○多罪タクザイ ○

寬典カンテン ○陳疏チンソ ○御詫ミツワ ○

作文類編

も孝ケイ 存ソン 心シン 也ヤ 愚弟コトコ 識シ

小学科シヤウガク 卒業ソクガフ 業ゲ 録ロク 存ソン

専門センモン 學科ガク 研ケン 究クウ 也ヤ

為レ 校レ 後レ 存レ 存レ 得レ 也ヤ

里サト 委ウケ 師シ 家ケ 子コ 也ヤ

之シ 田タ 備ビ 罷ヒ 也ヤ

此コノ 程ハト 先ス 生イ 毛モウ 唯イ 口ケ 也ヤ

控シユ 在レ 承ウケ 主シヤウ 万マン 年ネン 不フ

出デ 何ナニ 年ネン 所トコロ 下カ

君キミ 御ミ 比ヒ 教ケウ 後ゴ 夜ヤ 取ク 下カ

後ゴ 白ハク 下カ 身ミ 連レン 并ニ 卷クワン

一ヒト 法ホウ 注チュウ 段ダン 下カ 卷クワン

慚愧ハキイ○汗愧○

赤面○無面目○耻入

鄭重テイ○叮嚀○

御手厚

御饗應モテナシ ○御

馳走○款待

交信ヤイ ○交通○

通信○交接

挨拶○應對○應接

掛合

緊要カナメ ○肝要○

失敬フレイ 失禮

無禮 亡狀

他行ルス 他出

不在 留主中 (以下)

在宅 在館

来尋ツチ 訊問

芳訊 御来訪

照準クラフ 打合

照合テアラフ 比較

例

探偵 探問

探偵 探問

謹言

○痴魯之性質一層御迷惑之御儀と奉
推察也○生来愚鈍にて文才乏しく○
鄙野粗忽失禮節○兼而生育之疎慵○
御致累之段恐縮之至也○御嚴責は教
叱奉仰也○尔憚却塾管宜は傳声奉願
候

小學後生 初志

賢弟 郎君 令娘

出立後被程由

奉忍度以貴區行枝

夙胆盛之世評由轉身

賢弟 郎君 令娘

學子執心之趣由

河井段と申察御

生活トセイ ○活計○
 生業○營業○渡世○
 狡黠ガシネ ○桀黠○
 奸曲ソワザ ○奸智ヂエ
 愚蒙オロカ ○愚昧○
 頑愚○固陋
 葛藤モツレ ○紛議○
 和睦ホリ ○和談○
 和議○和熟
 名色キユ ○名譽○
 名望○色譽○聲價○
 英名○雷名○人望○

遠高聞何事
 直其成中誰方
 納仕能方今
 世運
 進洋字盛
 在乃在光善通
 科 卒業の校
 自

邂逅タカ ○遇○適
 不圖○風と○豈料
 御誘引○御誘導○
 御愛誘○寵誘
 御發足タタ ○御出
 立○御發程○御發駕
 御治装シヤ ○御出帆
 フネニダ ○御出帆
 衆船○御旅立○御發
 途○御出馬
 御途中ガ ○御途

今お易仕行宣所
 女お誨本仰右性
 厚禮止如斯以禮
 御祝として數品御取揃御惠授泰持受
 仕は○今息御儀局長御勤由自今御
 取廻程宜御鶴声奉願は○校内必用

上○御道中○御道程
 彼地○彼表○該地○
 御滞在○御滞留○
 長途ナダ
 御愁傷カシム
 哀悼○御愁嘆○御慟
 哭○御残念○御殘惜
 驚嘆
 驚入○驚駭○愕然
 前書マシヨ○前文○

品々御贈與難有頂戴仕仕○痴兒儀
 區内學校差遣候處為御祝詞種々拜戴
 芳志不淺奉謝仕○不日余堂可奉萬謝
 此○梓芝之節万縷御禮可申述候

觀雪後打上

昨夜之降雪四山一

白忽光銀世界と相乘

定而山川風景入

前條カテウ○前件
 昨年サキ○去年○
 客歳○前年
 今年○當年○本年
 旧冬キヨヒ○旧臘○
 容冬
 先頃サキ○日外○
 過日○頃日○先般○
 過般○昔時○時昔○
 昨夜○昨晚○昨宵○
 前夜○昨日○昨朝○
 翌日

奇觀北河内三津
 盟舟輕舟命一五名
 行同接しはり及貴船
 待入るに勿し

今朝瑤華積敷無塵之世界此儘看過
 其而遺憾堪む○枯木花を生し三
 千世界銀境變一徜徉之氣頓動○雪
 後之風景遊賞致度○剡溪之遊舟逸興

□今度コノタビ○此度コノタビ○
 今般コノタビ○當時コノタビ○如今コノタビ○
 目今コノタビ○現今コノタビ○本日コノタビ○
 今日コノタビ○當日コノタビ○即今コノタビ○
 即日コノタビ○即刻コノタビ○即時コノタビ○
 干今コノタビ○現在コノタビ○唯今コノタビ○
 今晚コノタビ○今夕コノタビ○
 □連日コノタビ○累日コノタビ○
 昨今コノタビ○
 □拂曉コノタビ○東雲コノタビ○
 未明コノタビ○平明コノタビ○平旦コノタビ○
 曉天コノタビ○今曉コノタビ○鷄鳴コノタビ○

不少と存候○友人六七輩諷詠の策相
 決一○大兄患肯被下度貴答待入且○
 若御同心とゞり一寸御回報可被下且
 ○賞覽の計策相運一と陪從如何と哉
 奉窺は

看梅詠した文

花魁カウイ已ホコロシ從クワ黃鸝アウワ如ハシメテウタヒ秋
 和ヤハ意ニエン實ワ在ツキ月ガセ際
 伊賀國梅花
 之名所
 風致速奉想
 像
 酒
 出
 意
 儀
 出
 杖
 為
 杖
 處
 上
 極
 風

□晚景ワケ○夕景セキケイ○
 夕刻セキ○薄暮ハク○日晡ヒ○
 黄昏クワシ○
 □終日シウジツ○暫時ゼンジ○片時ヘンジ○
 ○今時コノトキ○終夜シウヤ○
 徹夜テツヤ○然シカ○或シ○
 又マタ○右ミダ○就ツク○
 而シテ○夫ソノ○此コノ○
 陳チン○宜イ○可カ○然シ○何ナニ○
 平ヘイ○是シ○非ヒ○幾キ○重ジュウ○依イ○
 而シテ○嘗カフ○而シテ○隨シ○而シテ○却ケル○
 而シテ○押オシ○テ○敢カフ○而シテ○強シ○而シテ○

伊賀國梅花
 之名所
 風致速奉想
 像
 酒
 出
 意
 儀
 出
 杖
 為
 杖
 處
 上
 極
 風

頼○願度○奉存○存
 居○仕候○致仕○仕
 度○致度○候得共○
 候条○候處○候付
 候間○則○即○乃○
 且又○扱亦○將亦○
 御座○御座○御座○
 御座○得○御座候
 處○有之○無之○無
 御座○不淺○不少
 ○不被下○可被成
 ○可被成下

融和お心儀はとて安否に
 祥身奉寄喜感は
 月瀬梅は江戸橋
 山口橋道中
 志望は
 玉同酒平運
 連
 橋

被下度○被成下
 被下置○右付○
 右之通○右様○右之
 趣○左様○左様
 左之通○左様○左様
 ○併○此段○此旨○
 此由○此邊○被御付
 被御聞○被御下○隨
 御○仰之通○折角○
 折柄○折節○折悪○
 萬一○若○為御知○
 報知○通知○御風聴

奉飲は喜奉
 仲勢は遊歴神
 冬は折は及方御同意
 波中及以般
 心は折角
 奉寄喜感は

見事^{ミコト}する^ル ○ 結構^{ケツコウ}する^ル
 奇^キ廉^{レン}する^ル ○ 打^{ウチ}續^{ツグ}たる^ル
 曇^{クモ}り^もる^ル ○ 遠^{トホ}来^キ ○ 到^{ツキ}
 来^キ ○ 着^キ来^キ ○ 差^{サシ}出^デ ○ 相^{アイ}
 渡^{ワタ} ○ 御^ミ吐^ツ ○ 旁^{ナリ}
 ○ 迄^{マデ} ○ 御^ミ序^コ ○ 御^ミ届^{ツキ} ○
 相^{アイ}託^{ツク} ○ 御^ミ舍^ヤ ○ 是^{コノ}手^テを
 ○ 従^{ツグ}前^{マエ} ○ 従^{ツグ}来^キ ○ 元^{ゲン}来^キ
 素^ソより ○ 固^{カタ}より ○ 今^{イマ}
 まて ○ 以^モ前^{マエ} ○ 今^{イマ}後^{ノチ} ○
 自^{コノ}今^{イマ} ○ 向^{ムカ}後^{ノチ} ○ 此^{コノ}後^{ノチ} ○
 以^モ後^{ノチ} ○ 以^モ後^{ノチ} ○ 以^モ来^キ ○

○ 看梅之雅宴被為閑^ヲ由^リ蒙寵^ヲ招^ル辱^ス
 奉^{ホウ}存^ゾ ○ 梅^{ウメ}花^ハ敷^キ蕾^{ツボミ}香^カ氣^キ續^{ツグ}紛^{マシ}紛^{マシ}豈^{ナラ}等^ト閑^ヲ
 打^{ウチ}過^ヒ可^ク申^ス哉^ヤ ○ 探^{サシ}梅^{ウメ}之^ノ散^{サン}策^{サク}陪^{ヘイ}游^{ユウ}之^ノ貴^キ命^{メイ}
 を蒙^{モウ}り^テ雀^{セキ}躍^{ダク}之^ノ至^ル ○ 百^{ヒャク}事^ジを抛^{ナゲ}ち^テ近^{チカ}郊^{コウ}
 探^{サシ}梅^{ウメ}之^ノ心^{ココロ}組^{クミ}之^ノ處^{トコロ}從^{ツグ}游^{ユウ}被^レ命^{メイ}拚^{ヘン}舞^{マシ}此^{コノ}事^ジ候^{ケル}
 ○ 早^{ハヤ}速^{ソク}附^{ツキ}驥^キ可^ク願^ム之^ノ處^{トコロ}緊^{キン}務^ム差^サ懸^ケ不^レ能^ズ陪^{ヘイ}
 從^{ツグ}殘^{ザン}懷^ヰ之^ノ至^ル ○ 任^{マカ}仰^{オウ}速^{ソク}呼^コ扉^ヒ可^ク致^シ候^{ケル}不^レ
 取^ク敢^ダ貴^キ復^{フク}如^シ此^{コノ}御^ミ座^ザ候^{ケル} ○ 某^{ソノ}先^{マエ}生^シ去^ク月^{ツキ}来^キ
 辭^ジ舍^ヤ、滯^チ留^{リウ}書^{ショ}画^{ガク}之^ノ絶^{ツク}妙^{ミョウ}殊^{ジュ}、墨^{スミ}梅^{ウメ}揮^ヰ
 洒^ソ之^ノ所^{トコロ}長^{ナガ}、而^{シテ}既^シ、數^{スウ}幅^{フク}相^{アイ}頼^{タカ}之^ノ賞^{ショウ}翫^{カン}仕^シ
 幸^{サイ}同^{ドウ}伴^{バン}可^ク仕^ス此^{コノ}段^{ダン}御^ミ諒^{リョウ}審^{シン}可^ク被^レ下^ス候^{ケル}

將來^{キヤウライ} ○ 後^{ノチ}刻^{コク} ○ 不^レ日^{ジツ} ○
 不^レ遠^{トホ} ○ 近^{チカ}日^{ジツ} ○ 御^ミ咲^{サキ}草^{クサ}
 ○ 御^ミ慰^ヰ ○ 差^{サシ}支^シ ○ 差^{サシ}向^{カウ}
 ○ 差^{サシ}當^{トウ} ○ 差^{サシ}向^{カウ}

□ 文中雜語
 □ 春之部

春風初来^{ハルノキコウニチリ}黃鳥^{ウグヒスカナリ}弄^{ユル}音^ネ
 ○ 池頭凍解^{チノヘニドウゲ} 未^レリ^ガル
 ○ 淑氣催黃鳥^{シヨクキニキヨウニ} 一^{ヒト}キヨウ
 ニ^ニテ^リウ^ウガ^ヒス^スガ^ナク

春日郊行を促す

速^{ソク}之^ノ和^ワ廣^{ヒロシ}夫^ハ也^{ナリ}山^{サン}
 野^ノ之^ノ跡^{アト}を^シ遊^{ユウ}人^{ジン}陸^{リク}續^{ツグ}
 して^シ池^チを^シ此^{コノ}際^{キハ}真^{マコト}
 情^{シヨク}狀^{キョウ}之^ノ動^{ウツク}を^シ家^カ拈^{ニギ}
 輕^{カタク}技^キ依^ヨ而^{シテ}直^{チカ}郊^{コウ}遊^{ユウ}

コノハルモ
ユメニクラス

○四方燐々

○目も所向無非花

ハチイナ
メシ

○遊人旁午 イリヨ
ユ

○遊人雲集 日上

○春服已成 ハチミノキモ
ガテキタ

○櫻桃沿溪

○坐花醉月 ツギヨニ
イララレ

○遊絲織空 カゲロ
ソラヲカ

○醉芳筵 ハチミ
エフ

○花香撲鼻

○風景も好應接不暇

ナガメニ
ツクセヌ

○満山皆花 ヤマイヅイ
ハチ

○偷閑一遊 マラミテ
アソク

○花艶有情還怕雨

○負韶景 アソビニ
デヌ

○吟筇自在 アルク

○所々遊歩 トコロ
アソビ

○任馬蹄漫遊 ブルク
アルク

○嫩緑成茵 ワカサヲ
シモニル

○某亭花竹酷似桃源

トシイナル
山人ノニハクヤウナ

合し舞舞しと遊む

家族と連陪好可

侍中入後

○御深切に御誘引被下奉拜謝し○必
御同遊相願し酒肴も既申付置候間
都而小生、御委任可被下し○寵命に
随ヒ迅速支度し以参館陪役可仕候
○今朝より事務差仕し以午後より手
透相成の間御跡を志した以可申候

海初志を辞せり

観花を口説し願ふ

誰石もよる花を小

今もまを授用事

方々歩懐汗田村は魚

山間悉く思ふ

○一日快樂可敵千年

一日ノ夕ノシミ
千年ニムカフ

○春色難久保

ハナガジキニナル

○風幕花席

○乘燭遊 ヨルノハナミ

○落花狼藉 ハナチリ

○百花撩乱 ハナチリ

○蒼翠欲滴 アヲイダク

○殘紅送雨新綠窺窓

○春且盡時氣向熱 ハナチリ
キノメガメガム
ハナチリ
キノメガメガム

□夏之部

○衆芳既歇 ハナモハヤ
スギタ

○綠暗紅稀 キナゲル

○新綠交陰 アラハル
シゲル

○春夢未覚 ナツノ
ユメ

○綠鎖衡門

○高槐茂柳翠色

○在衣裾間 ミヅリ
ノシゲル

○俄然催薄暑 ヒカニアツ
クナリタ

○黃梅時節 ササレ

○入梅同上 ○梅雨同上

被褥自由不悉

○氣分不勝平卧罷在寵誘之背に段御
海怒可被下在 ○折角に御誘に候得共
余儀なき用向有に在間友誼に背に段
奉深謝に ○今日之處に何共恐懼に至
候得共他日必御同道相願候

旅行餞別文

不遠千里
結おる函

足程 起兼 鶴入新

至急 志上 本心 徳心

憾九腸 如断 存心

伊勢 多人 相應 守

口在 無口 斜 石

下在 所 守 柳 徳

○挿秧時節タクウチシセツ
 ○溽暑易倦アツサヒヤスイ
 ○炎暑薰赫アツサガヒヒトサガヒ
 ○赤日流金天地乃爐ヒトキアツサニテ也
 ○赫日張威ロノウチニアルヤウナ
 ○炎蒸如坐甑アツサニテ弁ヒヤシ
 ○炎塵撲面アツキホコリ
 ○炎官苛人アツサニテヒトヲモマス
 ○茲無涼亭水屋スマキニカゲガナイ
 ○煩炎難堪

○穴雲方熾
 ○居無綠筠スマキニカゲガナイ
 ○季夏以來雨澤不降シバラクアメガフラス
 ○避暑迎涼納スミ避暑迎涼アツサヲ
 ○避暑之筵スミシサシキ
 ○衆晚涼散策ユフミ
 ○月湧波心ツキガル
 ○江風滌煩襟カハカゼ
 ○スバシク
 ○アツサラワスル

之、旅行之儀速為
 聞所懇書時口厚
 餽贈下也送程あり
 早送河海包寄冬上
 可致之度又支及等子
 形好れ不敷之儀也

深村留主中為子
 河内流之程備奉
 於此錄之録之儀
 勿忘好各

○旅行ニ付為御餞別種々頂戴奉感謝
 候○被懸尊慮旅中必用之品々御惠贈
 難有奉存候○該地貴囑之儀兼諾仕
 早速探訪郵信ヲ以テ可申上座○彼地

旅人願編
 五

○迎颺ヨキカゼヲムカフ

○涼爽如秋アキノヤウナ

○輕舟載月ツキヨミフナスマミ

○追晚涼除悶熱ミ

○柳陰真成快境ヤ

○歌艫酒舫陸續不ギノカゲガスツシイ

○絕ユサング子ガタエヌ

○蓮看ハタ亭々君子花ハスノハナ

○採蓮曲ハスノハナ

○芙蓉呈艷ハスノハナガウツクシイ

○碧簫盃ハスノハナサカサキ

○十里ハスノハナヒラキ荷花香世ケシキガヨイ

○蓮花盛開

○風致高潔ハスノハナヒラキ

○滿池荷花齊采ハスノハナウツクシイ

○西湖ハスノハナメイシヨ

○濯々嬌容ハスノハナウツクシイ

○濯々嬌容ハスノハナウツクシイ

○濯々嬌容ハスノハナウツクシイ

○濯々嬌容ハスノハナウツクシイ

○濯々嬌容ハスノハナウツクシイ

○濯々嬌容ハスノハナウツクシイ

御用有之ヒリ被御付可被下候○留

至宅老少ノ萬端御依頼申上○一

應為御暇乞○一參上可致○一等々○一處殊○一外

繁用萬一矢敬仕候○一難斗御免可被下

候○一御繁務○一御中御見立等○一堅○一御

断申上○一御○一界儀○一發足○一御門前通

行仕○一間旅装○一必○一參上可仕○一

時計注文

其為清軟申置トケイ

織セアブルキ製ガ人ハ金子は子ま子ま子

七シ十ジ金キ前ゼのノ子コて

子コ堅ガ手テのノ子コ數ス那ナ

下シ御ミ身ミ上ウ御ミ度ド

相サ欵ク也ヤ

○直段精々御働可被下○銀皮而宜
敷數品御見被下度○見本一一て敷

□秋之部

○梧桐一葉く候

ハツアキノ
ジセツ

○時方開秋アキノ
ジセツ

○秋暑殊未艾

マタアツサガ
ヤマヌ

○秋涼可愛スシク
ヨキジセツ

○入秋稍得清涼

アキニナリテ
スツシクナリタ

○新涼入荒墟同上

○炎威漸衰アサガ
シタイモ
九

○暑気漸夷同上

○秋色漸佳アキノヨキ
トシキ

○金風蕩暑アツサガ
サカル

○星河朗々

○秋晴快適アキノ
ヨキソラ

○蟲聲催新涼ア
キ

ニナツテ
ムシガナク

○涼風至白露降

アキノ
ジセツ

○吟蛩繞夢過雁

連愁ムシトガンガナキ
サヒシクナリタ

○秋氣肅殺アキノ
シセツ

○露下冷透骨髪

品御遣一被下度ハ○過日一見致置ハ
時計最早賣捌、相成ハ哉奉伺ハ○兩
三日中、否可申上ハ○先達而御呼ハ
時計ハ如何相成ハ哉望ハ者有之ハ間
未夕御手元ハ御差越可被下ハ

閑店風聽ハ文

僕而陪書ハ仕ハ貴店ハ
倍ハ清福ハ能ハ能ハ

陳ハ紫ハ沾ハ毛ハ精ハ育ハ今ハ般ハ
チマヘカタミセ

何大區ハ何小區ハ何町ハ何番ハ

地ハ於ハ定ハ於ハ定ハ業ハ
シユカゼン
エイゲフ

外更ハ和漢洋書ハ籍ハ
サラ
ワカン
ヤウ
シヨ
セキ

并筆ハ墨ハ唐紙ハ紙ハ
ヒツ
ボク
トウ
シ

房具ハ素ハ松ハ布ハ業ハ上ハ
バウ
グ
サリ
ヒロメ
カイ
ゲ
フ
ミセ
ビ
ラ
キ

サムキチス

○菊花の時節

キクノハチノ
ジセツ

○落葉満庭

ニハニ
アツマル

○村舎荒涼

○西風襲綿衣

ガミニシミル

○觀月（觀ツキミ）満天無雲月

光如滴ヨキツキ

○皎月上簾鉤ツキカ
ニス外

レニノボル

○無纖躑クモリガイ

○蕉影乱階ハセラノ
カゲ

○蟾光玲瓏ヨキ
ツキ

○桂筆吐耀兎影騰

精ヨキツキ

○一年の良夜

○洞庭幽興ツキミ
タラシク

○飛觴醉月ツキミ
サケノム

○秋色平分蟾光如

滴ヨキツキ

○江樓觀月之約

ツキミノ
ヤクソク

間必世名並カチラズ
セケン
ナニ一層イワハツ

庭レン僧ハクシ之カ深レン切セツ

取チ打ヤス之子法フツ月ツキ行ユク月ツキ行ユク

之レ程ク美シ之ニ奉ホウ願ガン之ノ右ミナミ

口クチ風フエ聽キ之ノ上ウヘ反サカシ録ロク

没モト信シン之ノ帝テイ之ノ下シタ之ノ上ウヘ

○代價御恰好、働申上。○諸品多敷
儲蓄可成丈廉價ヲ以テ賣捌申上。○何
方ノ力宜御評判奉願上。○新刻書籍多
分仕入上間即目錄直段付入御覽上。○
書籍其外多分御注文上。猶直段割引
可仕上。○御沙汰次第迅速積荷可仕上。
○追而苦情差起上而迷惑上付渾而
正札現金ニ而取引仕上。○時々弊店手
代ノ者差出上間御用被御付可被下上。
○野店ニ於て不日新刻小學用書籍發兌
致上間御手廣く賣捌奉希上。

○踏月光

○光浮盃面清入

詩鹿 サケヲノミ シラツクル

○觀楓 モミガミ 霜後淋成

シモガフリ

○紅似錦 モミガ

○樹色經霜 シモガ

モミガカ

○霜樹錦堆 モミガ

○山皆霜葉如行

彩雲中 モミガノウチ

○紅於二月花 モミガ

○墜錦 モミガ

○籬邊菊綻 モミガ

○一徑黃花 ヒトウチ

○東籬秋色 キク

○瘦菊傲霜

○一叢庭菊 キク

○陶家之風流 キク

○東籬鬪光色 キク

ノハナ

○黃花散金 同上

○逸花獨秀 キクノハナ

○叢菊不負清賞

作文類編

彩茶浮中遣文

報便下今世當字

天氣都合當定

製茶元分所備

察上別紙

書通精製

口若之律傳

○新茶代價書御送被下度候 ○此状着
次第早速御差出相願也 ○本年製茶
内頗佳品ノ御取揃御差出有之度候

友之招く之文

一存治是情也

先奉遊學中回塾

○籬畔鋪金秋容
更溢キクノハナノヨキジセツ

□冬之部

○露結為霜

○三冬夜學時

○逐日短晷ヒシシカ

○添線日長トウジノ

○陰極陽生四上

○冬梅已洩暗香ウメガ

○南枝占花魁日上

○冷透重裘カサネ

○梅香破臘カサネ

○年光將終トシノ

○光陰如梭ツキヒノ

○世紛多鞅掌ハヤイ

○時節柄紛塵日上

○閑爐擁紅アタラシ

○俗羈冗絆トリユミ

○空對流年トシヲ

○肌膚生粟ササユツヨク

雪之友南而航海上

歸舟行裝店外

自山室相催器上萬

國之風土音

物才疏酒之茶

况聽聞終一室之

嘆

即初

自

○今夕社及參會小宴可催。約諾致置候間御鎖務も無之より御貴臨可被下也。○某先生來游。付別業。於て社中席上揮洒相催。付御來駕待入。○夕景より月並小集相催。付御文器御携光璞奉希。○兼而御同盟。結社

○光陰疾於汽車電

線ツキモノハヤキ

○賞キミ六出霏々フキ

○洞雲醸ユキ雪ソラ

○凍雲涵ユキ雪ソラ

○豐年有兆ユキハクウチ

○六花呈祥日上

○殊ユキミ獲ユキ灞橋佳興ユキ

○萬境一色ユキソイ

○三千銀界日上

○枯木生花ユキ

○銀砂玉屑ユキ

○世界皆瓊瑤ユキ

○盡是画裏江山ユキ

○今朝ユキ霽雪無ユキ

○塵ユキ世界ユキ

□婚姻

○新婦ユキ

○新歡ユキ

○婚儀新成ユキ

○偕老同穴ユキ

○作ユキ文類編

一條、有御快儀相遊度某樓へ御出車
可被下り○兩三友回讀頌講日並相立
其間御同盟被下度御臨席奉希候○別
荘、於テ詩文小會社友陸續來車先生
ニ九何卒御出席願上り一入清興ニ存
候

日返翰

貴墨芝蔴酒借收客

訪能ユキ寵ユキ拍ユキ

孝悌ユキ新ユキ拍ユキ

御游ユキ居ユキ鳥ユキ談ユキ粹ユキ

聽ユキ後ユキ幽ユキ情ユキ在ユキ伸ユキ

可ユキ能ユキ躍ユキ玉ユキ塊ユキ

任ユキ在ユキ怨ユキ志ユキ直ユキ粉ユキ

おユキ趨ユキ了ユキ早ユキ差ユキ後ユキ

○雲媒兩約

○配偶ツレアヒ

○嘉耦同上

○良縁コキエン

○佳偶ツキアヒ

○納采ユツアフ

○雁幣同上

○儷皮同上

○好仇ヨクアヒ

○好配同上

○鴛鴦フウフウ

○如瑟琴フウフウ

○昨夜陽臺雲霧

○媒コシレイ

○洞房華燭コンレイ

○偕老フカフク

○夙締コシレイ

○結髮エンクモ

○合ニ姓コシ

○鳳枕ニ鴛衾同上

○萬世ニ始同上

○合ニ登サカヅキノ

○合ニ登トリカハセ

○今夕佳友御集會雅宴被催ニ舟車生

陪飲被命難有奉存ニ○貴館ニ於テ

輪講御開ニ由ニ御加盟可被ニ

旨欣然ニ至ニ○御懇書敬兼仕ニ

任有合小魚一籃御一笑ニ供ニ○

任仰即刻昇堂可仕ニ

梅雨安否事否事

梅雨縁モウウ難ガタク

如ヨク如何裁ハル

同ドウ様サマ口クチ難ガタク

奉ホウ察サツ愛アイ知チ人ジン

外トウ来ライ自ヨリ海ウミ南ナン勝トウ

臺ツホ与ヨ御ニ晚バン

節セツ知チ味ミ

今イマ朝アサ

○氷人ナカダケ

○紹介日上

○既當此夕一コバン

○婦道既備ヨソノ

ヨソツクス

○聞来日為足下親

迎々辰ヨレイスルロ

○房奩ヨメトリ

○深閨玉眞ヨメヲ

○資質柔和ヤサシク

○牛女之匹ヨキワフ

○續枝ヒドノヨメラ

○再娶日上

○再醮日上

○再縁日上

○從雙親之意カヤ

コノロニシタガフ

○糟糠之妻マツシキ

○中饋之事メシナノ

セハスルツマライフ

○箕箒妾ヒトノツマシ

京新聞紙通送此

音方之口慰

性欲在石

○連日之霖雨殆も困却致し鬱陶敷
天氣土泥外出を害け屏居罷在也○無
慘如何しも消光之計策盡果也○御動
止如何被遊也哉奉伺也○閑寂之餘
拙吟一首机下呈し此後吐正奉願也○
兩中来人稀し獨寂寥々消息罷在

候○兼而願置は葡萄苗梅雨中裁付
申度家僕差出は間頂戴願候

甚密持誘はる

此程甚密生最盛之由

承はるは月一甚早の浮遊

夜遊は健母を催

度豚見は速は家

□ 生誕

○熊罴之夢 ユラウム ヨジ

○吉夢為兆 日上

○弄璋之舉 コラウム

○弄瓦之喜 コラウム

○千里龍駒一枝仙

桂 ヒトニスグレタ ヨキコ

○掌中之玉 ヨキコ

○充問之慶 アサザン ヨコビ

○誕辰 タシヤウ

○芳種 ヨキコ

○仙桃結子 コラウム

○蘭桂流芳 ヨキコ

○麒麟獻瑞 タシヤウ

○符蘭夢産英才 ヨキコ

○分婉 コラウム

○分身 コラウム

○平産 アザン

○御女子 コラウム

○御産後御肥立

固 オヤコトモニ マメナ

○宜

○御光親御寵愛

賢身方御控携口

游覧之如何哉

此段相伺身之海

○昨夜などハ別而盛之由傳聞致也○
御慰之たは御愛見方御引連御出可被
下也○群螢飛散見事之由兼り也○舟
之用意致し置也○御支度出来次第御
来臨被下度舟子相待居先刻より毎度
申来候

暑中見舞文

朱若如想之候列

此も三日月清風に清光

花江傳小無之哉

月山生怨意之果成

別荘之老柳 因感

- 産衣一籠 ウブキ ヒトウチ
- 襠褌一称 四上
- 胞衣一領 四上
- 成長 シトナリ

□仕官

- 公事忙劇 ツトメン セハシキ
- 夙夜黽勉 小子ヲリ ツトメル
- 時務通曉 ツトムキ アカルキ
- 累遷 カサ子ノリツシ
- 陞官 クラキラスム

- 練達車體 チノコトニ タツス
- 不受私謁 マヒナイラ トラヌ
- 實踐施行 ジツチニ ワタル
- 敏於文學達於 ニ
- 政事 ヨキヤクニ
- 書記 カキヤク
- 刀筆吏 四上
- 事務熟達 コトニ
- 粉骨碎身 ウチヲラ
- 盡力 四上
- 竭力 四上
- 局務清澄 ヤクヨ

流鏡欄雅趣風致
 寓居名之佳境
 貴客所聚
 常夕陽上
 隨水糖一箱
カタク セキヤウ イウカタ
オイテ
コホリ
ハナレ
キヤウ
サシ
ライ
オ
シ
キ

葡萄酒三壘時候御伺として入高覽
 輕少をぬきみぞ候暑に驗迄備貴覽
 仕聊寸情を表す斗は○西瓜三顆
 後園に産ては間消暑に一助に晋呈仕
トレ
コウ
モント
ソナ
キ
ラ
レ
コ
シツ
ウカ
ヒ
シ
カ
キ
ン
カ
シ
オ
ト
メ
オ
キ
ア
リ
カ
タ
シ

ノキマリガツク

○漸次整頓 ラヒクキマル

○處分 ハカラヒ

○處置 日上

○展驥足 サイキラスノバ

○奉命 ゴサタフコウマル

○車務章程 ウツトメキ

○論議確實 ギョウガタシカ

○條理井然 スヂミダカタツ

○轉任 ヤクガヘ

○褒賞 ホウビ

○縣治 ケンシツサマ

○管轄 シハイ

○管内 シハイカ

○改革 アラタメル

○改正 全上

○釐革 全上

○在勤 ツトムル

○在務 全上

○退廳 ヤクシヨビケ

○休暇 ヤスミ

○公車榮赴 チハムヘ

○綜理人材 キリヨクノシラヘル

○忤干時流排干

文類編

○積陽中御蒸否伺度○右暑中御見
舞奉申上度○猶時氣御保重專一奉
存候○時令御加養奉萬祈候

日回復

如夫人命由盛若候益
行健存恭候
此誠況ハ
オタ

門下御恩
ツ子

多事辱
マタシケテク

西見
ヘキ

五日
ニシ

沿署
セウ

打拍
カラ

ノキマリガツク

○漸次整頓 ラヒクキマル

○處分 ハカラヒ

○展驥足 サイキラス

○奉命 ゴサタラコウマル

○車務章程 ツトメキ

○論議確實 ギロシカ

○條理井然 スゲミナ

○轉任 ヤクガヘ

○褒賞 ホウビ

○縣治 ケンシ

○管轄 シハイ

○管内 シハイカ

○改革 アラタメル

○改正 全上

○整頓 全上

○在勤 ツトマル

○在務 全上

○退廳 ヤクシヨク

○休暇 ヤスミ

○公車榮赴 チウヘ

○綜理人材 キトクノ

○忤干時流 シラヘル

忤干時流排干

○積陽中御恭否伺度○右暑中御見
舞奉申上度○猶時氣御保重專一奉
存候○時令御加養奉萬祈候

日回復

如失命由望者候益
河津存恭候業
此誠況乃自出

河津存恭候業

河津存恭候業

河津存恭候業

河津存恭候業

河津存恭候業

河津存恭候業

俗吏

タミシクマモリ
ジクヤリニシラオシノク

○随才擢叙

ヒトノサイニ
ヨリテモキ
ス

○志在奉公

○上官

○長官

○属官

○依命施行

トホリ
トリオコソフ

○衣錦歸郷

ニナリ
テカヘル

○衣錦之榮

○天恩優渥

○言事無所依違

ドチラモ
ツカヌ

○車馬擬王公

○輕裘肥馬

○棟梁之任

○精勤

○勤功

○專任

○拔擢

○採用

○擔當

○拚命

依文類編

依文類編

可也

厚禮

可也

○暑中為御尋問種々被贈下御厚情辱

奉存也○冰製之珍菓惠賜打寄拜味也

處忽然清爽を覺也○暑中為御見舞品

々御惠賜辱奉存也拜眉御禮可申上

○素麵一箱時下御伺且ハ報酬之印遣

奉入笑覽也○見事之鮮魚幸客来一盞

相傾也處直様割宰申付何也も格別

珍味と賞賛仕也○昨今別而鳩暑也

間御愛護奉祈也

書務

印紙

記

印

- 公務鞅掌 ツトノシキ
- 公退餘暇 ヤクシヨガハ
- 名出青雲 シツセスル
- 遭遇 シアハセ
- 辭職 タイヤク
- 乞骸骨 同上
- 退辭 同上
- 辭表 タイヤク子ガイ
- 挂冠 タイヤク
- 抱關擊柝 不フシアモ
- 冷職 同上

- 窮猿投林 ヨウランテウリン
- 薄給 スコシノキフ
- 五斗米 同上
- 薄祿 同上
- 天馬嘶橙 サイガアウラ
- 富貴如浮雲 フクキヨウフウン
- 百事蹟蹉 ナニトモハツレ
- 諸軍背馳 同上
- 落魄 フシアハセ
- 窮至骨 コンキウ
- 東西漂泊 ツク
- 萍踪無定處 ハシ

持書為ナク主エン行遠
慮リヨ後クハシ行ハシ落ゲ續ドク可
被フ下ク不具

○貴命し書籍某氏へ貸置は間早速取
寄差上可申也○御尋し書物所蔵は間
御用可被下也○御用立置は窮理書
御返却正と落手且貴命に随に地誌一
部御使へ相渡也○御菓子御恵授難有
奉存は御沙汰し書籍差上申也

面談を約するも
前畧行免可也
陳今朝某氏より
委細申越は候
乃刻拙宅へ行来

ツキガキマラヌ

○折腰

○安簿給以有老親

○存也 ツマラヌヌクニ
ツクモカヤノタノ

○為糊 ロクチスギ

○碌々 ナニモ
ワザナシ

○林泉之志 タイヤノ
コロサシ

○歸去来之賦已成

○知足 アキラメ

○急流勇退 インキョ
スル

○恍然隔世之思 ヨト
ヲウチヌテル

○青雲之志絶元果 リツシン
ノゾミハナイ

○罷免 メシ
シヨク

○上之無援下之無推 シツセガ
テキヌ

○欲從赤松子遊 ヨト
エト

○景閑八面 ミハウラ
ミハラス

○寶肆 宝肆
ビラキ

○樓閣重々 リツパン
イヘ

□新居

○寶肆 宝肆
ビラキ

○樓閣重々 リツパン
イヘ

○寶肆 宝肆
ビラキ

○景閑八面 ミハウラ
ミハラス

作文類編

奉 コヒガヒ

○御談判之糸有之其間御光来奉仰在
○兼而御吐申上置之事件之付至急拝
顔致度之御足勞御来駕奉願也○面晤
之要之間御手透之来車を乞ふ○得貴
意度之儀有之只今御尊来可被下也

書由朕之定之清子

以柔之糸 シウ
テイ

清勝 セイ
シヨウ

此幅 コノ
フク

口拵物 クチ
シヨモノ

山 ヤマ

直 ナカ

真 マコト

○土地高燥タカク
○晰建昂々高敞雲ウキタケ

外フシシンノ
タカキ

○永占榮耀ヨキ
クラシ

○池園潔修

○兼有海山眺望ミ

勝ヨキミハラシ

○宏大結構クワイソウ
ハシ

○宏莊輪奐オウキク
リツバ

○閑蕩康莊クワン
トウ

○流水橫其前後

帶ササ青山サンスキノ
ケシキガヨイ

○閑靜有林泉クワン
シズカ

スマキノ

○落成テキアガリ

○美麗キレイ

○壯闊リツバ

○落慶ハ子アゲ

○僅容勝耳セマキハ

○不過容膝セマキハ

○數椽造作僅凌

風雨カゼノ
シノダダケ

率ト以シ瞻カン屋イ空テイ下レ市チ夜カ曉ウ

球キウ以シ五イ子シ起キ武ブ以シ指シ指シ因イン

下カ月ゲツ以シ右ウ左サ以シ心シン以シ法ホウ

之ノ法ホウ以シ之ノ

○近來姦商術術を逞しく致し由依而
真偽御目利に程奉願也○此一軸其高
持參筆意肉あり実之無凝致し相水度
御鑒定奉願也○東湖五絶に書幅造り

る物より由に得共一應御判定相願也

金子借用し

一物イツ持カン口ホ口テ口イ口ヨ口ハ口子口イ

下カ子ケ子イ子ケ子イ子ケ子イ子ケ子イ

下カ子ケ子イ子ケ子イ子ケ子イ子ケ子イ

下カ子ケ子イ子ケ子イ子ケ子イ子ケ子イ

□ 壽 賀

○懸弧之令辰 オトヲタ

○設悦之佳辰 オノタシ

○德如海壽似山

○蟠桃數献 オノイキ

○南極流輝東華

注算 イノチノ

○佳氣庭闈霽然

女ノコトブキ

○遐算 ナガイキ

○遐齡 ナガイキ

○鶴算綿筵 オノイキ

○精神益健

○龜鶴之齡 イノチオカキ

○令德壽愷 ナガイキ

○榮祥流慶 ナガイキ

○椿萱勝芳 トリモブシ

○具慶 イハヒ

○南之壽 ナガイキ

○子孫皆称慶於

膝下 コヤマゴガ

○松筠同賀 イノチノ

○奉壽觴 イハヒノサカガ

○閑壽筵 イハヒノ

サカモリ

何奉之能通之商程
 偏之何能通之商程
 行善國之通之商程
 之通之商程
 之通之商程
 之通之商程

○近頃申兼得共御融通相成
 金百圓恩借仕度此儀奉懸託
 ○山林

目 返 奉

引當として金五百圓拝借仕度尤来月
 中より返却可仕且利子之儀と相當差
 出可申也○今日荷物着船故代償相
 渡度依而願置仕金額御貸附奉願仕○
 商事要用に付住居為書入金三百圓御
 取次御融通奉願仕

金子百圓子所
 金子百圓子所
 金子百圓子所

○壽星滿堂輝 イハヒライフ

○同登壽域 フタフトモ

○殘喘無幾 サキガナイ

○頽齡 オイボレ

○衰齡 オイボレ

○偃僕 コシガカム

○素榆暮景 トシヨルタル

○鬢如舊 オウシヤオウフト

○耄景 トシヨリタル

○銀髮催老 ヒゲガシロクニ

□送別

○旌軌期定 タビダチキマル

○千里漫遊 イウレキ

○黯然銷魂 ワカレニナカレガオナル

○涉履慎重 ダウチウタイセツ

○祖道夕唱陽關 ハナムケノシラウタフ

○遐迹珍重 タウチウタイセツ

○灑淚共訣 ナキワカレ

○祖餞 ワカレノサカモリ

○別杯 目

○參高查隔 トホクワカレル

作文類編

昭相酒の味は甘く
て、酒意難おろす
力も旨く行はるる
行末臨下るるは
○任貴命金負御渡申上は間来月中御
皆濟有之度此段豫免申上置は○御申
込し金子差上り自今御入用之節ハ無
御斟酌可被御聞上○御依頼し金計調

達致置は間證書御持参しりし御渡可
申上り○利益之儀壹錢ツしこ而引合置
は間貴意之候はりし御取次可仕は○被
仰越は金子早速御用達可致答は處
當節拂底折角は御儀は得共不惡御領
兼被下度は

外甥異見之文

外甥申述は猶所
安泰之般珍重之云

錦衣駟馬必期早

歸ニシキヲキテカヘリヲマツ

駱馬跋山彩鷁帆

海ウミヤマヲコエル

悵然河梁之恨

ワカレノウラミ

垂柳折盡ワカラル

悲莫悲於生別離

イキワカレガカナシイ

聊表餞敬ハナタケ

萍蓬ダウレンヨノキマラヌ

孤客萍蹤日

不得措歸計カウガ

幾換星霜トレンツキヲ

與君分袂叢菊

兩関ワカレテニシテ

一別分手萍踪

各異ワカレテタガヒニチウシヨガキマラヌ

鮮家以來見月

兩田團クニラサツテフタツキアマリ

砧色驚容思アキニオナリタ

長安一斤月ツギノヒカリ

歸期正及鱸魚ガオナシクヒトガワカレテイル

歸期正及鱸魚

借子行山見懶惰サテソノモトケンライイラシクダ

放蕩更與字業ハウトウサラガクダウ

憔悴花柳オサマニチクバクサウ

一算金錢浪費シキンシツカヒ

少年輩親交リヨウセウチンカイ

枝也風評待シキワカヒヤウマシ

乃公右襟モウウケマシ

歌乃カノシマシ

存得ゾントク

年音貧困ヒツネンヒンコン

路孝オチチウコウ

家名カメイ

時節カヘリハ一マキニナルヤラシメヌ

□ 讌宴

○ 酌清酌割ヨキサケト芳鮮サカナ

○ 何忘思醉ゴチクウ

○ 連飲數杯ノミケ

○ 酩酊エフ

○ 醉倒エフテタラハ

○ 陶然大醉オホイニ

○ 割烹リウウリニ悉心コソコソ

○ 美酒佳肴ササカナ

○ 炊桂饌玉イロクノ

○ 盛宴ニド、ハナキ歡難可サカモリ

再遇ニド、ハナキ

○ 快飲コ、ロクノム

○ 飛羽觴而娛適サカツキヲトバシテ

○ 樂飲極歡タノシム

○ 樂飲極歡

○ 山海珍味頗驚メヅラシキゴチソウ

○ 珍味盡異世常

○ 珍味盡異世常

作 文 類 編

禮志レ節セ不孝コウ

罪之ツミ何ナニ不義イ

且ツ朝アサ不ズ舟フネ還カヘラ間マ内ウチ

後コト鳥トリ者モノ悟ユ返カヘ心ココロり

及ナホ為ナリ因ユヅル悔クワイ之ノ命イハレ

及ナホ為ナリ因ユヅル悔クワイ之ノ命イハレ

接ツグ之ノ可カ申マシ入イ全ゼン自ジ之ノ心シン

○ 父母之鵠恩カヘリハ忘却サカサカ一マキニナル○ 生業イハレ之ノ投棄ナゲテ
而シテ不ズ恭ヤス之ノ舉動キョウドウ之ノ忍シ以テ○ 近來イマ不ズ品行キョウギン
趣ツキ逐ツク一ヒト兼ツグ知チ效ケツ其ノ○ 悔悟クワイ之ノ休ユ更ニ不ズ相ツグ
見ミ其ノ○ 到底オウジ貧苦ヒンク之ノ陷クワス之ノ儀イ必カナラ定マシ之ノ
存ツク之ノ○ 屢シバシバ校舍コウシャ之ノ規キ則ノル之ノ犯ト○ 學費ガク之ノ
酒食シュウシキ之ノ為ナリ之ノ拋ナゲ之ノ○ 人道ニヒトノミチ之ノ悖逆ハイギャク○ 老
親オヤジ之ノ悲嘆ヒタン宜カニ推オシ恕シ可カ有ア之ノ○ 不ズ將マシ之ノ次ツギ
弟ニ○ 權義ケンギ之ノ耗損コウソン

薄ソマツチ 具チソウ 潔治野萩

マカイノ タソウ

○草酌屈臨 ソマツチ マチリ

○薄陳蔬酌 ソマツチ サケ

○野人餐應不過

前韭 ソマツ

○薄謀芥酌 ソマツチ サケ

○村醪無以為款

○薄酒冷饌 ソマツチ チソウ

○漸乏美酒佳者

ヨキハ ケサカナガ ナイ

○酒興未高 マダサガ タラヌ

○不能投轄相留 カトノ マリス

○濁醪失敬賢 レイ フラシノフ

○疏節 ソマツ

□贈花

○弊園一叢聊

○供詩料 シラツクルタ子 アゲル

○敬分一株 ヒトハナ アゲル

○自摘數莖献 ト

作文類編

新聞紙注文遣書

以手紙ノ上貴社登

所陸呂奉茶祝紙

自今新聞紙日

立為所通送之紙

以依頼ノ上郵便

換を以て前金並郵

札と金何圓送

子送學子可希以先

如新ノ紙送

○此書状着次第御送送可被下生○二葉宛取束御差送可被下生○本月一日分ヨリ差立可被下候○左ノ名當ニテ御送送奉希也○本紙代價三ヶ月分金

カフサシアゲル

○聊贈一枝春ワタスナチ

○手折一枝以供清ヲウケル

玩ヒトエダ オナクサミアゲル

○敬將數本以納記

室ヒトハナ サシアゲル

○割愛以供清賞

フシキヲナレ サシアゲル

○願蒙妙句一聯

○愛翫不已ダイシ

○謹貯小瓶中持託

ハナイケニサシテ ナガル

○蒙賜奇花適慰

鄙懷ハナラクダサレ アリカタシ

○敬献一株幸毋

視為遼東豕ヒホダ

サシアゲル ツマラズノトスルナカレ

○意出千金萬玉

カ子ヤタマヨリ タツトシ

□祝日

○紀元之令辰キゲン

○天長之聖節セツ

赤文願編

何圓為換ヲ以差出申上○一ヶ月九度
取纏仰差立可被下候○郵税並持込税
とも為換を以差出せ

歸郷為知上

志御安イシ康カウとニ能キシ登ガ

僕儀送ジタ中チウ子ゴ親ナシ

叩カ謝ハリ者チヤク侍ツク

古悼ハカ以イ敬レ念ニ之レ侍ト

中ス主チウ萬マン端タン以ニ心ココロ深シ

之ナ殿ナ家カ内ナイ之チ若ニ事コト出デ

美ビ謝シ辭ジ盡ツク在ニ此コ

此コ中ノ之チ侍ト候ケル也ナリ

齋イハ名ナ柳ヤナギ主ヌシ燈ト之チ印シ

四五

○聖誕

○大平有象タイヘイ

○萬瓦飄日章マンワヒウニチシロ

○刀旗插空ヒノハタガヒルカヘル

○開明之世ヒラケルヨ

○伏戈之世タイヘイ

○足驩虞タシシ

○偃武脩文

○家々祝太平

○奎運循環イハコトニイハフ

○奎運循環ガクモン

ハヤリノヨキ世ノナカ

○四民唱太平

○擊壤之民タイヘイ

○鼓腹之民ノタミ

○五風十雨シフウジュウウ

○郁文之化ヒラケルヨ

○浴関化之德澤メクミヲウケル

○鞞橐タイヘイ

○山海之恩ゴオンノ

○闔國之歡浴カクニ

○闔國之歡浴ガクノイハヒ

主人笑覽セウラン先主御シヤウシユ

郷河輕知キヤウワチ上公餘シヤウキョウヨ

躬採教コウサイカウ

○長途無別奈去ル幾日歸邑仕ル○客中每々御音信被下ル辱奉存ル○歸宅後早速可相同ル之處長途之疲失敬仕居ル○留主宅老少ノ之々懸念罷在ル處不レ一方御厚志ニ趣難有奉存ル○流船之往復相閑ルヨリ旅客至便ニ儀ニ御

座ル○海上無難ニテ着船仕ル尔憚御安恙可被下ル○船中僅二晝夜ニテ着港仕ル○彼地某氏ヨリ力御傳言有之近日絆芝緩々可申上候○御依頼之品相求持歸ル得共着後勿卒追而取揃差上可申ル○此品彼地名産ニ付輕少ながら呈上仕ル

故郷之兩親へ贈る文

以郵倉奉申上ル時下カ

- 國慶クテイハヒ
- 四海波静タイヘイ
- 呼萬歳イハフ
- 遥拝ハルカニハイスル
- 遐夷貢獻グワイニ
- 檀原奠都神武天皇御世
- 舉祝盃イハヒノサカモリ
- 閑祝筵日
- 沐浴聖恩ゴカンラミニウク
- 奉壽詞
- 捧祝辞

秋暑に節を以て注意を以て
 雨を様倍し康健
 禮を起し奉るは
 此和氣を志精研
 仕姑間は様江安
 富に程を以て注意を以て

□疾病

- 不幸有病フシアハセニテビヤウキ
- 遂抱羸疾タイビヤウ
- 方在病褥ホトコニアル
- 采薪之憂カヒビキ
- 感冒日
- 宿恙ナガアツラヒ
- 微恙スコシヤマヒ
- 風邪一困カセヒキナシキ
- 尊恙ゴヤウス

主陸運を以て注意を以て
 送禮中禮を以て注意を以て
 程字術試験力に
 其意倍倍を以て注意を以て
 得て并に仕居出近
 来身禮健康若成

○積年痼疾 スルキヤマヒ

○膏肓之病 ナラタヤマヒ

○病根 ヤマヒノモト

○病因 日

○病源 日

○抱疴 シビヤウ

○庸醫誤人 ヤブイニ

○名醫 ヨキイシヤ

○國手 イシヤ

○力圭 日

○蒲柳之質 ヒヤウシ

○頭痛發熱

○貴疾稍愈否 ハ

○惡寒 サマケ

○腹痛 ハライタ

○齒痛 ハイクスミ

○麻痺 シビレ

○腫物 シユモツ

○下痢 クダリ

○吐瀉 ハキクダシ

○咳嗽 セキ

○癡歇不定 ヤブガ

○心境不爽 コロモチ

時氣之由志之也

乃區記之也

真之留學之校舎

一葉之書

乃記之也

乃鴻之也

心之秘

乃路之也

乃聲之也

乃書之也

○此頃中少々不快之處昨今全快仕
御安心可被下也○過日御書翰被下候
處其節試驗之差掛仕之月御返書之暇
無之也○時候風土之障も無之滞在
間御休慮可被下也○某氏之面會同國

□ 喪葬

○攝生不相叶遂

至暗夜之臺シヌル

○歸泉之客シヌル

○遠罹風木之悲

○奄然棄背シヌル

○一朝永訣ワカレ

○上鬼籍シヌル

○上鬼簿シヌル

○易篋シヌル

○捐館シヌル

○蚤世ハヤジニ

○無果相成

○泉客已為古人

○見其姓名已為

鬼錄シヌル

○賻治其喪ホウムリク

○訃音愕然シラセニ

○蘭萎玉碎コラナク

○閨門之戚ツマラナク

○鼓盆之憂シヌル

伊文卷終

○御構ハ不申上シヌル得共粗酒赤飯差上
度御子供衆御引連御光来奉待シヌル○山
針陳列老少絡繹一時シヌル杜觀シヌル存シヌル○
神輿渡御頗雜還シヌル景容シヌル奉存シヌル○来
幾日祭禮シヌル付御愛見御提携御光臨待
入シヌル

退隱之役人典シヌル

浦波シヌル陳澗シヌル角シヌル

唯シヌル時シヌル愈シヌル康シヌル和シヌル

恭シヌル賀シヌル月シヌル近シヌル生シヌル年シヌル来シヌル如シヌル

望シヌル玉シヌル樓シヌル之シヌル林シヌル舞シヌル

結シヌル之シヌル自シヌルらシヌル銘シヌルをシヌル山シヌル圃シヌル

閑シヌル把シヌル之シヌル小シヌル鹿シヌル

致シヌル之シヌル友シヌル之シヌル相シヌル

松シヌル籟シヌル之シヌル朝シヌル之シヌル閑シヌル

伊文卷終

五十

○葬送ソウシキ

○埋葬トリアサメ

○火葬ヤク

○墓田ハカ

○墓標ハカジルシ

○吊泪滿襟ナニダキキ
リニタマル

○泪筆不備カナシクテ
ガミガカテ

□火災 盜難

○回禄之患クハジ

○化為灰燼クハジ

○池魚イナヅメ災クラヒ

○貴邸附鳥有オモ

シキ
マルヤケ

○家莊泯蕩ヤケ

○赫烈如掃ヨクモ
ヤケタ

○驚吊無依キムドク
ナ

○隣里共救之幸

○而得息ヒトノタスケテ
ヤケヌ

○綠林之強客オス

○梁上之君子ロ

○夜客オスビト

○竊盜オスビト

夜休る上見成ヤクヒイ

夜客の足下ヤクキアガリ

閑坐行鎖踏カイヤ
モリ
カシツカハ

のまじり刻イカ

駕下カ
シカ
シカ

物モノ

眺望テウバウ慰イヌル出イダク懐クハシ也ナリ

と年トシ

○明夕主満月、月雲霧之障力無之也
ハ、某樓、於テ吟賞相催也。○今夕望
夜、属一此儘空敷過一也而主残懐之
至、也。○月華賞翫飛觴相催度。○兩三
友と謀リ金波流光、棹一賞遊可致と
存也。○今宵主満月緑樹碧流、映一眺
望一入主儀と存也。○金風爽然月色清
朗。○秋風飒々覺爽快也。○良夜満天也

○穿踰ニ

○盜躡忍入ニ

○偷兒乘虛ニ

○錠前檢明ニ

○強盜オシ

○凶器相携ハモノヲモツ

○掠奪カスメトル

○為暴於君子門ニ

○珍器紛失ダレシノ

○銀盃羽化ヌビスト

○踪跡不分明ユクエガシレヌ

○就捕縛メシトラル

四季之稱候

○寒氣甚敷

○寒氣凜烈

○嚴寒如裂

○寒威強烈以上一月

○苦寒退兼候處

○殘寒不退之候

清光若一駕を狂らるゝ於テハ詠歌雅
懷を述へ快樂を盡可申と存と

田名

新物お閨此より新

塔之鳥樓之於て手あひ

之雅宴下催存踏の

夜之抄耀之生夜

刻念米茶緒可奉

陳謝之由抄復

○月色嬋娟實々一年之良宵寵招を蒙
り大幸に至る○看月、付御招、預に處
昨夜深更迄露坐と故歎邪氣、相觸れ
乍残念敢參樓不仕と○貴招、應、直
様月光を踏、參樓可仕と

海外より友人贈る

○春寒料峭候
處

○餘寒嚴敷以上三月

○春寒漸退候處

○追日暖和相催候以上三月

○日增春暖相催候

○春麗相成候

○踏青候

○春色相顯候

○暖和長養候

○世上和麗候處以上四月

○向暑候節

○催暑候節

○迎暑候節

○薄暑候節以上五月

○梅雨朦朧候

○霖雨打續候

○連日梅雨以上梅入

○暑氣相催候處

○暑氣隆日候處以上六月

猶素今之去也サリカ子

先人貴也ケイフウ風至及合時ド

氣之所障キサハリ也イヨハ

勉學之ベンガク節ダシ奉願也ホウガン

行既海カウカイ及ゴ行タツ上カク

之ニ亦カハツ知テ而ハ下ハ消ソク息ク

秋アキ慙ザン愧キ之ノ五イ疾シヤク疔リョウ當トウ

節フツ佛ハツ系キヤウ系ハダ西シ理リ府フ大ダイ

字ジ校コウ行コウ潘パン留リウ珠シュ

追オヒ之ノ江エ昇シヨウ及キウ行コウ白ハク皇クワ國コク

之ノ名メイ譽ヨ令カ輝キ也ヤ

奉ホウ缺ケツ美メイ之ノ本ホン邦コウ

○甚暑之節
 ○酷暑之候
 ○盛暑之砌
 ○炎熱難堪候處
 以上七月
 ○殘暑強候處
 ○殘炎去兼候處
 空秋暑之砌
 ○秋暑猶難去
 以上八月
 ○朝夕之冷氣相
 覺候

別々相變^{カハル}は^シ成^ル母^ノ也
 逐^{ナク}る^{シツ}開^{カイ}明^{メイ}之^キ域^キ進^シ歩^ホ
 波^ナと^ヒ鍊^{レン}と^シ没^{ボツ}音^{オン}亦^レ有^ル
 可^ニ上^ニ不^レ悉^{シツ}

○御渡海後御留主宅御一統御健康之候間御省懐可被遊之○英京龍動御留學定而螢雪之御勉強奉察之○本邦之景况為御報知新聞紙數種差上申候○

○漸新冷相催候
 以上九月
 ○冷氣相増
 ○秋冷相募
 ○冷氣甚敷
 ○時分柄秋冷之砌
 以上十月
 ○向寒之砌
 ○迎寒之砌
 ○陰氣弥増
 ○寒冷之節^{以上}
 ○寒氣相募^{以上}

時候風土も相變候事と奉察は随分御加養專一存之○先頃より歐洲名勝之寫真御贈被下實々真境之遊之思をなす○御成業一日千秋と奉待之○某氏航海に付一封相託して萬事同氏より御聞取可被下候○御歸朝之期屈指奉待候○御兩親様至極御壯健小生每度参上仕候必御案事被遊間敷候

啓^{ラウ}を乞^ボふの文
 志^{ラウ}母^ボ儀^ボ以^ボあ^{ラウ}る^ボ令^{ラウ}く

寒氣次第と相増

○霜威日加以上月

□人倫名称

○師先生 ○夫子

○尊師 ○老師

○大教鐸

○尊大人

○尊父 ○令父

○嚴君 ○尊翁

○我愚父 ○家父

○家翁 ○家嚴

○先人 ○先考

○令母 ○令萱

○北堂 ○令慈

○我拙母 ○家母

○慈母

○子賢息 ○令嗣

○令郎 ○郎君

○令肖

○愛王 ○令嬢

○令愛

當今之風邪と存居

と愛今朝より密候

不耳息心痛候旨に候

臨汗診察被仰度

御上は名に

○風邪、侵され困却罷在候間御來診
奉希候 ○御診断被下度奉願候 ○誰儀

急病差起熱氣甚敷候間即刻御診察奉
願に ○欠々候煩、而種々療養尽し得
共更々功驗無し此上先生御一考
を仰く耳、御座候 ○昨今追々衰弱一
層々憫坐看、堪兼候

病氣見辨り文

お治れ候と云ふ大人は病

氣行空辨如何候哉

○我子豚兒 ○愚息
 ○賤息 ○痴兒
 ○女房女 ○賤娘
 ○拙女 ○弱女
 ○兄女 ○元芳
 ○令兄
 ○弟 ○令弟 ○令仲
 ○叔弟
 ○尊姉 ○伯姉
 ○令姉 ○賢姉
 ○妹 ○令妹 ○貴妹
 ○賢妹

○我兄 ○家兄 ○愚兄
 ○舍兄 ○阿兄
 ○弟 ○舍弟 ○劣弟
 ○昆弟
 ○姊 ○家姊 ○姉事
 ○妹 ○家妹 ○少妹
 ○妻 ○令正 ○内正
 ○令室 ○令閨
 ○尊夫人 ○細君
 ○我妻 ○愚妻 ○拙荊
 ○家荊 ○荊妻
 ○賤室 ○野婦

漸乃下退守相赴燈
 子思察在近沙
 茂乃下江沙
 宵免可下
 一箱下見舞
 進上仕在退守
 相赴燈
 子思察在
 近沙
 茂乃下江
 沙
 宵免可下
 一箱下見舞
 進上仕在退守

專務と存候
 令堂と存候

○貴恙近頃御容体奉伺無御油断御
 加養儀と存候 ○此程中御不快と由
 更々不存御尋も不申上矢敬御海怒可
 被下候 ○不容易御容体殊々御老躰一
 入御注意御介抱專一存候 ○逐日御快
 方より由御食事も御進々重疊々奉存候
 ○随分御手當專一存候 ○繁務と取紛
 九御見舞も參上不致御免可被下候 ○

○孫嫡孫 ○華孫

○令孫

○我拙孫 ○賤孫

○小孫

○人賢使 ○貴价

○我賤价 ○賤伴

品物名數

○筆 一管、一對、一対、一対、一対

○墨 一挺、一笏

○硯 一面

○紙 一帖、一束

○書籍 一卷、二冊、一部

○扇 一本、一握

○手拭 一條、一枚

○服紗 一條

○衣服 一領、一具

○帶 一條

○袴 一條

○小袖 二重、一重

○足袋 一足、一双

○絹 一端、一疋、二端、一疋

○綿 一把

乍文類編

粗菓一箱為御見舞進上仕候御樂受
被上より辱存候○猶御大事、御加
養奉祈候

婚姻を祈る

ハキ 二橋様 略儀に
儀首尾能く
由より美事候に依り

ハキ 二橋様 略儀に
儀首尾能く
由より美事候に依り

ハキ 二橋様 略儀に
儀首尾能く
由より美事候に依り

此より美事候に依り

海濱に於て

進上仕候書外

お届儀に

○御良縁御取結目出度奉存候○御婚
儀首尾能く被成御整重疊目出度奉存候
○就吉辰御婚禮無滞御成就千祥万禱
奉祝壽候○御光親様無御満悦、御儀

手八

- 毛氈モウセン 一枚、陣
- 風呂敷フロシキ 一枚
- 羅紗ラサ 一間
- 砂糖サトウ 一斤
- 茶チャ 一斤
- 菓實カクシツ 一籃、一籠
- 掛物カケモノ 一幅、一軸
- 机ツエ 一脚、一前
- 敷皮シキガハ 一枚
- 梳カミ 一枚、一基
- 夜具ヤグ 一領
- 蚊帳カヤ 一垂、一張

と奉察せ○不腆之品聊表嘉儀○小魚
 一籠聊慶賀を表せし為進献仕○幾
 久敷御受納可被下○毒留女一連扇
 子一箱後榮を祝一候

日返事

芳簡好之婚儀取
 結成の時御拍通
 迎式極る間男お

- 簞笥タンス 一
- 長持ナガモチ 一枚、又棹、又杖、又一帖
- 屏風ビョウブ 一枚、又一帖、又一雙、又一対
- 樽ツクリ 一樽、一荷、一テリ
- 花瓶カハバ 一瓶
- 笠カサ 一本、一張
- 傘カサ 一蓋、一杖
- 靴カウチ 一足、一兩
- 行燈アンどん 一
- 提燈チチン 一
- 草履ザリ 一足
- 木履キクリ 一足

所知なる一々の取成
 上とて品し御惠贈辱
 受納仕仕に御答
 お獨り一盞上は儀
 本日午後茶一時
 所賜御後下下様

諸鳥一翼 一翅 一頭

鷓鴣一羽

牛一頭

馬一疋

鹿一蹄

野猪一蹄

兔一耳

月之異名

新年新陽

青陽新陽

端月以上一月

立春雨水

玄蕪春寒

以上二月

夾鐘殷春

陽中令月

四陽以上三月

清明穀雨

鶯時修禊

姑洗以上四月

純陽清和

朱明中呂

可名之御留主中

河内拜遠申上

恒有合和菓箱致

覽仕在相應之口由

行賜意なく可被仰

聞と不具

○定而毎々御郵信御座候と奉推察候
○御留主中如何御消光被為在候哉御
御閑寂之御儀と奉存在○御留主宅皆
々様御社健重疊々存候○彼地、於て
御用濟無程御歸國之旨日々御待申上
候○聊當衛之伺として重之内一組奉
入御覽候○御不都合之儀上御遠慮な
く可被仰聞候○御消息申上度候付彼
地御滞留先之地名先御宿所不憚為御
知可被下候

賀出産文

以上五月

○芒種

○南訛

以上六月

○林鐘

○鶉火

以上七月

○立秋

○流火

○桐月

○白露

○秋清

○鶉月

○地臘

○元陽

○庚伏

○夷則

○爽節

○桂月

○豆雨

以上九月

○高秋

○寒露

○授衣

以上十月

○立冬

○始冰

○良月

○黃鐘

○芸生

○葶月

以上十月

○應鐘

○小春

○陽後

○亞歲

兼、為、清、上、河、念、對、口

安、產、珠、字、未、璋

由、奉、恩、悅、在、河、潭、泉

世、所、滿、喜、日、龍、愛

之、儀、上、子、安、在、右

河、冠、輝、之、駭、之、多、仙

深、亭、之、五、梓、皇、在、河、潭、泉

可、愛、之、在、河、女、子、樣、也

口、子、當、東、之、上、河、行、行

日、刻、系、殿、可、上、在、右、也

○御内室御初産殊、御男子嘸御満悦
○御儀と奉察候○令閨御平産、由梓
承奉恐悦候○御分婉、處御男子御誕
生御喜悅別而御老親様、御寵愛と奉

助字畧解

持 トリワケ

唯 ソレバツカリ

只 上向

但 外ノイヲノケテ

徒 イタツラニ

殊 ベツダシ

實 ヲコソノソコヨリ
又歎テイフ辞

真 ホントニ

誠 ホントニ
ホントニオヒニキ

素 シタダカラ

固 モトヨリマコト

察候○掌中ニ珠玉御寵愛ニ御事ニ奉
存候○為御祝儀紅布一及御緞縹一
助ニ進呈仕候○御祝詞ニ印造粗布一及
晋上仕候御緞縹料ニ御加用可被下候
○御雙方様ニ御愛護又御大切ニ奉
存候

同田報

芳書お披紙ニ思書
出產有子進河祝儀

漸 リロクダシク

稍 スコシツ

較 クラヘテミルト

軌 タビトニ

苟 イヤシクモ 又モシトホ意
カリソメニモ

既 サフアツタウヘ

已 モハヤ

將 イマヨリヤサン
ハタト読ハキハマダト云意

當 箇様ニナルベシ

正 トモニ
タビシク

應 テアラフ

必 キツト

とて家厚財ニ持

謝ハ河陰ニ母子ニカ

健固ニ根ニ旨ニ味

河放ニ由ニ命ニ出ニ

河禮ニ貴ニ命ニ

○拙判安産ニ為御嘉表何寄ニ品御慮
與奉感謝候○判妻分身付御祝物ニ預

○况 イワニヤ マシテヤ
 ○嘗 カッテ マヘカタ
 ○且 カッ ソノウヘ
 ○歎 カ 余疑テケセヌ
 ○身 ヤ コワデアラン
 ○則 スナハチ ソノトキハ
 ○乃 スナハチ ソコテ
 ○即 スナハチ トリモ
 ○而已 コレバカリナリ コノホカニナシ
 ○耳 ノミ ノシヤ
 ○便 スナハチ テバヤク
 ○轉 マチ イツデモ

博覽會誘引文
 謹啓陳今度會城
 郭於此特紀念會
 場也成且景況本

リ御勞志不洩奉存候○成長之後相應
 如字御一考奉願候○雙方とも安全
 候間並に御勞神被下間敷候

○蓋 ケシ オフカタ
 ○柳 ソウ シカシハマタ
 ○前語ヲオサヘテマタコウイフ
 ○理ガアルト云意
 ○亦 コレモマ コレモマ
 ○又 マタ ソノウヘ
 ○復 マタ フタヘビ
 ○猥 シラニ ナレクシクヲツク意
 ○果 カタシテ アンノゴトク
 ○而 シテ ソウシテ
 ○敢 アテ オシテ
 ○豈 アニ ナント
 ○或 アハ モシモ
 ○ナカニハ

邦及世界万国
 器物種樹深及至
 盛列自由承及名
 付法及道立在太
 望

○和漢洋之器蒐集羅列自由○千聞
 一見如かぞ御同行一覽仕度存候○

○然 サウジヤ

然而サウアツテソノチ
然者尺腕ニ用ルル所ナリテナ
ト大意。雖然サウカントモ。
然則シテミレバ

○頗 ヨホド

○殆 ヨホドチカク
又大概ト云意

○終 シウノ慶が畢竟

○遂 ソレカツイニ

○竟 トウツイニ

○猶 ソレデモ

○尚 マダ

○聊 シバシマア
尺牘ニ些少ノ意ニ用ルルコト

○薄 シハラク

○恰 テウバト

○頻 サイク

○累 カサ子ク

○更 アラタメテ

○驟 シバク
ニハカニ

○數 タビク

○屢 マタシテモ

○尤 モツモト
スガレ

○最 タイイチ

○悉 アリタギ

○盡 ノコリナリ

衣文類編

知識擴充ノ一端ニ奉存候。○各國製造
ノ優劣及以品位を窺可申ト存候。○通
券持参仕ル間直様某茶店まで御出會
可被下候

菊花を贈りては

汗丹粘り菊心對

枝を贈りては

お慰む即お上り挿

賞觀仕仕尚挿送

し竹花可上上

○黄菊盆栽にまゝ御患賜被下早速机
上ニ置賞玩仕仕。○東籬に秋色最盛存教
枝御差送辱存候。○數叢に菊花御授患坐
右に花瓶を移し樂に居候

了長弁人金指文

本日の海内は向安

○ 僅 フツカ スユシバカリ
 ○ 純 ワツカ コレギリ
 ○ 返 カハツテ フリカハリニカヘル
 ○ 却 カツテ アトモトリ
 ○ 歸 カヘリ モトヘカヘル
 ○ 無 ナシ ナシハ有ノ及ミシテ 物ノナキ意ナリ
 ○ 莫 ナシ スコシモ ナイ
 ○ 勿 オカレ サウハスルナ 禁止、コトハ
 ○ 常 ツツ子 カハラスツ子ニ
 ○ 每 ツツ子 ソノタビコト
 ○ 因 ヨリニ ソレニ付テ
 ○ 由 ヨリテ コレニ付テ

皇親友
 皇壽悠久
 奉贊之 祝宴相聞旨
 貴拜 伊保令上
 光来 旨令相聞旨
 ○ 天皇節佳辰付御饗應ハ不申上候得
 共御来駕御同祝申度候○天下休暇を

○ 故 コト ソノワケテ
 ○ 夫 レサウシテ
 ○ 速 スミヤカニ ハヤク イソイデ
 ○ 遠 スミヤカニ キウニニワカニ
 ○ 忽 タチマチ フト
 ○ 乍 タチマチ チヨット
 ○ 愈 イヨク ナホク
 ○ 彌 イヨク ミチヒロカル
 ○ 甚 ナホク ヒドク 其事ノヒドクユキコ
 ○ 酷 ナホク ヒトキヒドク
 ○ 至 ナリキツテアル

賜り慶賀し御日柄○當日主御降誕之佳
 節報恩を表せし為開宴仕候
 借財日延を款也
 貴館に御多々様
 賀儀に御恩倍々
 金員返辨期限及違
 汗流を以て

○到 其トコヘキタルナリ

○始 終ニ對スルナリ

○初 事ヲ興スルナリ

カスナリ

○未 マダセヌ

○非 カヤカテハナシ

以呂波引

以傷ヲ忙バツ怒ド謙

抱カシ識ヲ偽ヤ厭マ

評ガ瑜ニ誘ハ辭寐

態ク徒ト著チ戴

營ヲ諱キ聊レウ懸懸

區 論録ル弄弄

波 勉ハ謀ボウ創チ造

離リ速ク蔓シ弛

掃チ果ク放ハウ騎ヘイ

勵イ働トク錢シ渾ク

劇ク省 厲イ沮シヨ

秒ク運シ扱ケラ囉

仁憎ク逃トク拳ク睥

遠キ眼シ擔キ肖セリ

芥ク北ホク鈍シ似シ渾

躡ク蹙爾柔和

保 誇ク褒ハウ綻 タン

作文類編

六十七

号 閑 亦 捨 並 巧 巧

手 白 輪 亦 也 病 宗

疎 自 光 延 浦 相 法

下 也 懼 示 不 意 上 可

奉 於 濟 上 亦 行 平 東

三 年 上 也 延 期 上 行 豫

之 程 備 奉 懇 願 在

秘 告 首

○返納可致金子當今不如意付猶二十日
之内日延奉願候○返濟金只今為換着
不致候間五六日之間御猶豫奉願在○
甚不條理之至候得共金子返償暫く延
期願上候○入手金手違相成候間返金
暫時御延奉希候○返金之期至リ
候處融通調兼候間改而一ヶ月延期借用
願度候

嗔ホニル織ホシ豁ホカ側ホカ多ホカ粗ホカ
贊ホムル施ホドス殆ホドク殆ホドク殆ホドク殆ホドク

鑿ホシ肆ホシ乾ホシ韜ホシ韜ホシ韜ホシ韜ホシ

奔ホシ走ホシ閃ホシ閃ホシ閃ホシ閃ホシ

別ホシ扶ホシ微ホシ笑ホシ微ホシ笑ホシ微ホシ笑ホシ

邊ホシ謙ホシ謙ホシ謙ホシ謙ホシ謙ホシ謙ホシ

歷ホシ耗ホシ漂ホシ泊ホシ漂ホシ泊ホシ漂ホシ泊ホシ

偕ホシ通ホシ融ホシ融ホシ融ホシ融ホシ融ホシ融ホシ

悠ホシ調ホシ調ホシ調ホシ調ホシ調ホシ調ホシ調ホシ

說ホシ解ホシ解ホシ解ホシ解ホシ解ホシ解ホシ解ホシ

帛ホシ訪ホシ訪ホシ訪ホシ訪ホシ訪ホシ訪ホシ訪ホシ

徒ホシ黨ホシ黨ホシ黨ホシ黨ホシ黨ホシ黨ホシ黨ホシ

疾ホシ鈍ホシ鈍ホシ鈍ホシ鈍ホシ鈍ホシ鈍ホシ鈍ホシ

伴ホシ點ホシ點ホシ點ホシ點ホシ點ホシ點ホシ點ホシ

新營祝狀

捧ハサ沿ケイ沿ケイ沿ケイ沿ケイ沿ケイ沿ケイ沿ケイ沿ケイ

皆ラク成ロイ成ロイ成ロイ成ロイ成ロイ成ロイ成ロイ成ロイ

且マ同ドク同ドク同ドク同ドク同ドク同ドク同ドク同ドク

眺テウ望ハク望ハク望ハク望ハク望ハク望ハク望ハク

造サウ萬マン萬マン萬マン萬マン萬マン萬マン萬マン萬マン

脚キョク筒トウ筒トウ筒トウ筒トウ筒トウ筒トウ筒トウ筒トウ

聊リョウ權ケン權ケン權ケン權ケン權ケン權ケン權ケン權ケン

上ジョウ上ジョウ上ジョウ上ジョウ上ジョウ上ジョウ上ジョウ上ジョウ

緒ジョ緒ジョ緒ジョ緒ジョ緒ジョ緒ジョ緒ジョ緒ジョ

○新營御落慶御轉位相成候奈奉恐悅

候○閑麗之御造構絶景之場所柄不朽

之堅基之萬々奉慶喜候○御造營御成

功相成近日御引移被遊候由殊々洋風

知 鑛 盟 違 干
 廢 邦 縮 散
 此 近 困 耻 辱
 鎮 撫 馳 走 停 止
 寵 愛 黜 陟 蟄 居
 忠 告 晚 警 見
 註 解 醒 醒 誅
 利 害 兩 端 流 行
 各 當 律 令 陸 續 履 歷 略
 慮 外 理 屈 離 散 立 憲 良 智 臨 機

奴 塗 抽 鈔 濡
 縫 緘 竊 抄
 脫 蛻 煖 燻
 留 流 布 類 燒
 速 思 懷 惶 驚
 愚 惟 貽 推
 追 威 侵 侈
 趣 剽 惜 泳
 溺 負 襲 壓
 修 隕 掩 陷
 敗 劣 訖 了
 興 慮 踊

作文類編

結構奉歡羨候○御住居向清潔之御
 出来之趣別而閑静之土地入御羨敷奉候
 お楓誘引之御
 霜葉錦色を粧は月
 詠次は誘引之命を
 学は才感謝之固より
 短才は能く若くして

却而清無之汚も勿論
 直得を折角之失之意
 應了社中引率倍程
 可仕は勿之貴漫
 ○丹楓潤色真盛之由て御同遊し命を
 奉一欣拵に至候○楓樹錦堆秋色充
 分丹寵誘被下奉深謝候○看楓之御企
 御同遊可被仰付旨難有領承仕候○過

六十九

和 蟠ワカ 煩ワザレ 忘ワスレ 災ワハヒ

頌ワラフ 嘖ワラフ 涉ワスル 辨ワカス

技ワカレ 別訣ワカレ 離散ワカレ

態ワカレ 移徙ワカレ 湧ワカレ 徑ワカレ

惑乱ワカレ 狡猾ワカレ 閑寂ワカレ

加翔ワカレ 塞ワカレ 誼ワカレ

悲ワカレ 圍ワカレ 誓ワカレ 談ワカレ

抱ワカレ 貸ワカレ 頑ワカレ 姦ワカレ

顧ワカレ 飾ワカレ 斲ワカレ 掠ワカレ

痒ワカレ 吧ワカレ 賭ワカレ 構ワカレ

堪忍ワカレ 交際ワカレ 甘苦ワカレ

覺悟ワカレ 記念ワカレ 荷擔ワカレ

與ヨソ 欣ヨソ 弱ヨソ 僥ヨソ

妝ヨソ 喚ヨソ 據ヨソ 僻ヨソ

校合ヨソ 可否ヨソ 容易ヨソ

太驍ヨソ 賴ヨソ 嗜ヨソ

貯ヨソ 巧ヨソ 譬ヨソ 窈ヨソ

誑ヨソ 戲ヨソ 耐ヨソ 叩ヨソ

躑ヨソ 躑ヨソ 酬ヨソ 低ヨソ 坦ヨソ

紉ヨソ 質ヨソ 雅ヨソ 便ヨソ

避ヨソ 滲ヨソ 漂ヨソ 唯ヨソ 誰ヨソ

扶ヨソ 貴ヨソ 隼ヨソ 雲ヨソ

作ヨソ 支ヨソ 頌ヨソ 編ヨソ

雁哀声を發し楓葉秋色を顯し候折柄
御同游可望候

歲末之文

光陰智海よりとて歳を
嘗て河津繁剌察入
秋來区内学校村
築於當村在河津

暇極の河津疎濱行

寛志可なりは海と茶

善為江社城垣魁亮

尾貴厨の相廻り

所矢納福の孝則

多忙中酒事

禮 禮讓 憐愍

廉耻 例式 玲瓏

練磨 會 諳

譏 猜 欵 乖 乖

害 負 抑 聳 聳

添 備 育 副

津 掌 慎

羈 勤 疲 突 償

攫 摘 蹶

詳 穢 穢 穢

妬 願 鍊 舐

睡 眈 直 段 寢 勞

忝 歎 嗚 投

馴 雙 斜 效

詠 慰 宥 惱

抛 狎 活 業 杯

良 埒 明 狼 籍 懶 惰

武 群 迎 酬

睦 虛 徒 費 妄 言

殘 忍 守 恭 搖

患 恨 羨 諾

倦 嘯 促 寫

潤 遷 嘔 訴 訟

嬉 植 堆 迂 濶

文 類 編

新年おぼろぎ

可成候

○歳尾切迫嘸御繁劇奉察候○曆尾無
餘日相成候○駟隙一歳爰暮申也○
歳抄御繁用奉察候○歳月爰盡世事紛
擾之折柄○年内之種々御無憐奉厚謝
候常々下存御疎遠御高宥可被降候○
看楓之節御取換之會計差出申候齟齬
亦有之被御聞度也○書肆より別紙
代價申来之間御點檢之上御遣了有度

候○歳末之嘉儀として塩大口魚二尾献
上仕候○此品粗末に至候得共歳暮之
佳儀として進上仕候○押詰繁忙に付尔畧
儀書中を以申上候○書餘新年梓芝之
あらせ○随分御清福と御迎歳奉祈候

回返書

歳尾及月迫に繁劇
おぼろぎ
おぼろぎ
おぼろぎ

計削 蹴汗

消僥倖 契約閱

不壅 振防

踐 觸

醜 太 歷

深 蕪 諷 振舞

紛失 輻輳 負荷

古辭 堪懲

超 希 諺 斷

毀 拒 比 云 疑

快 濃 窘 澁 媚

試 故障 固 辭

角王宮之河迎奉

行

○御同前 押詰繁忙之事 ○歲末御祝儀と七鮮魚御投與辱奉存候 ○某品代價御尋候得共任有合差上候儀而決而御配慮ハ不及申候 ○先般御割合態々御差送正々落手仕候 ○餘ハ期來陽拜芝之時候

此を悼之

江天 街 拵 術

照適宜 貞操 叮嚀

眺望 電報 為休

阿 爭 蹤 逢

賜 欺 謾 怨

改 預 誤 悞

迹 仰 恰

剩 怪 周 呀

危 餘 徧 肯

隣 頭 與 著

飽 挨 撥 陽 生 憎

贖 鞅 掌 形 勢

御老父は歳水は病

身は又於所養

生身は計は遊は飯

奉為驛を嘆は志

傷程は察は赤赤

と身は御を為は唐漬

左 聰 磨 吟 支 妨
 騷 搜 支 妨
 寥 遮 論 悟
 敏 捧 探 噪
 挿 昌 榮 避
 幸 忤 剖 倒
 樂 聽 競 鍛
 築 斬 萌 究
 窮 嚴 淨 瀆
 由 容 往 豐
 緩 委 緣 弛
 諛 言 愉 快 議

由 緒 猶 豫 油 斷 赦
 女 迴 繞 取
 躡 徵 珍 娶
 惠 綿 密 盟 約
 酌 耐 品 裁 迷 惑
 美 聰 磨 觀
 紛 謾 盈 操
 導 醜 艷 妄
 短 塵 冥 加 瞠
 存 問 未 進 妍
 密 談 泯 滅 閑 雅 猥
 送 別 土 產 名 聞

金 貨 正 星 汗 盡 前
 備 友 統 口 平 年
 百 枝 下 在 尚 名 堂 美
 行 悔 可 不 具
 ○今般不圖カ熱症ニ而御病死シ由實ニ
 御愁傷ニ至レ候○嘸々御残惜敷思召
 居レ得レ實ニ驚入レ○醫藥無其驗遂々

御死去ニ段愁傷ニ至不堪候○醫藥被
 盡御手ニ得共終々御保生不相叶御歸
 泉ニ由奉驚愕候○日頃御孝煩ニ足下
 御慟哭奉察候○乍菲薄金幾内御靈前
 一奉享薦也○聊賻贈ニ印迄金幾圓奉
 備御靈前也○此上ニ御追敬專一奉存
 候○尚拝面ニ上御悔可申上候
 火事ニ心苦ク文
 貴境不雨ニ奉大ニ

夜之頁端

之 誣シラカス 呵シカス 凌シカス 阿シカス 凌シカス 阿シカス 凌シカス
 強シカス 凋シカス 凋シカス 凋シカス 凋シカス 凋シカス 凋シカス
 頻シカス 閑シカス 暫シカス 暫シカス 暫シカス 暫シカス 暫シカス
 驗シカス 示シカス 慕シカス 慕シカス 慕シカス 慕シカス 慕シカス
 屢シカス 品シカス 退シカス 退シカス 退シカス 退シカス 退シカス
 縮シカス 親シカス 親シカス 親シカス 親シカス 親シカス 親シカス
 稿シカス 摹シカス 寫シカス 繁シカス 繁シカス 繁シカス 繁シカス
 惠シカス 刊シカス 獲シカス 獲シカス 獲シカス 獲シカス 獲シカス
 襟シカス 詠シカス 哥シカス 演シカス 說シカス 映シカス 映シカス
 遠シカス 慮シカス 悅シカス 喜シカス 浴シカス 革シカス 革シカス
 擇シカス 緣シカス 談シカス 延シカス 滯シカス 餌シカス 餌シカス
 比シカス 博シカス 秀シカス 秀シカス 秀シカス 秀シカス 秀シカス 秀シカス

河野殿及在起相
 子相伺也○御土蔵御別屋ハ御別条無
 存也○御一同御怪我ハ無之也哉御容
 家御別条ナク御立退之段何寄大慶
 御燒失之段御氣之毒ニ奉存也○御全
 愕之至候○夜前十々御近火ニ而貴宅
 ○昨夜御近火之慶御類焼ニ及之由驚

曳シカス 拾シカス 涵シカス 披シカス 披シカス 披シカス 披シカス
 低シカス 飄シカス 偏シカス 均シカス 均シカス 均シカス 均シカス
 驚シカス 提シカス 撚シカス 響シカス 響シカス 響シカス 響シカス
 潜シカス 弘シカス 跪シカス 紐シカス 紐シカス 紐シカス 紐シカス
 疹シカス 控シカス 控シカス 攤シカス 干シカス 干シカス 干シカス 干シカス
 鼻シカス 負シカス 披シカス 露シカス 只シカス 管シカス 管シカス
 毛シカス 需シカス 持シカス 儲シカス 儲シカス 儲シカス 儲シカス
 催シカス 慵シカス 慵シカス 慵シカス 慵シカス 慵シカス 慵シカス
 翫シカス 餐シカス 餐シカス 揉シカス 揉シカス 揉シカス 揉シカス
 最シカス 漏シカス 戾シカス 基シカス 基シカス 基シカス 基シカス
 專シカス 庸シカス 庸シカス 脆シカス 悖シカス 悖シカス 悖シカス 悖シカス
 記シカス 臆シカス 請シカス 蒙シカス 昧シカス 質シカス 質シカス

由是者有呈上侍候
 及刻出
 可也

世責^{セキ}道^{ミチ}狹^{セウ}

羅賣^{ロウ}穿鑿^{セン}消息^{ソウ}

踟^{チウ}瞻仰^{テン}堰^{エン}

寸姿^{スン}頗^ハ澄^{テイ}

健^{ケン}勸^{ケン}棄^キ賺^{ゼン}

統^{テイ}速^{ソク}吸^{ソク}軟^{カン}

救^{クウ}勝^{ショウ}些^{シャ}濯^{ジュク}

滑^{クワ}質^{シツ}朴^{ホク}推^{ツイ}量^{リヤウ}淒^{セイ}

涼^{リウ}棲^{セイ}

之由御災厄中ニ大幸ト存候○御近火
驚入リ得共御別糸無之安慮仕ル○貴
地失火ニ而殊々猛風一時延燒終々尊家
灰燼ト相成リ段何とも申上様無之
○御仮居定而御不都合ニ御儀ト奉察
候○為御見舞家具品々為持差上申候
○差當リ御不都合ニ申上様無之
別荘へ御仮居可被下候○戻風一雙
ケト五枚為御見舞進呈仕ル○御手傳
として家僕一名差出候

作文類編終

作文類編附録

觀梅記

某日偶閑アリ○予一兩黃鶯幽谷ヲ出テ花魁信ヲ報ス偶一友
輩ト約シ○吾將遊シ
トス○欣然具ヲ治ム
○乃チ策ヲ脩メテ出ツ
ヘテテ○春暖和ニ乘
シ○此日ヤ幸ニ天氣晴
和ナリ○村ヲ環ルハ皆
梅○皎トメ白玉ヲ欺ク
兮○梅花蕊ヲ吐ク
カヒラキ○馥郁衣袖ヲ
シ玲瓏玉ヲ碎ク園中ノ光景能ク筆紙ノ

○草ヲ披テ坐シ壺ヲ啼テ空際ヲ翔ルアリ之カ為ニ目曠ク心怡
傾テ醉フ○應接暇ア
乃チ茶具ヲ開キ溪泉ヲ汲テ香茗ヲ煮
俱ニ眺望スルコト良夕未タ餘興盡キガルニ
遠寺ノ鐘聲暮ヲ報シ以テ歸ヲ促ス遂ニ白
路ヲ舍テ捷ヲ取リテ歸ル其大略ヲ記スルコ
ト此ノ如シ

綠陰園基記

○鳥鳴キ花落ッ○
盡日寂々トシテ紅塵ノ至ルナク薰風微ニ吹テ
花積テ雪ノ如シ○落
檣馬丁東タリ獨草堂ニ坐シ徒然茗ヲ煮
花狼藉○花ヲ惜テ
之ヲ喫ス時ニ柴扉ヲ叩キ刺ヲ通スルモノア
馬上ニ吟ス○春芳漸
リ蹤履之ヲ迎フレハ舊友某ナリ乃チ久濶
ク歌ニ夏綠初テ齊シ
恙ナキヲ語り閑話時ヲ移ス遂ニ園基ノ戲ニ

ハナカチリ
ヤチバニナル ○綠陰鬱葱
及フ互ニ輸贏ヲ爭ヒ一勝一敗全局ヲ制セント
○池頭芳草ノ夢ナツクニ
ス巧手妙段子聲丁々タリ庭前ノ綠陰鬱
○雲外始テ聲アリホト
蒼蒼トシテ帷幄ノ陣營ヲ絡フカ如ク蟬聲鼓噪
○殘夢之レカ為ニ破絶
シテ行軍ノ進撃ヲ助クルカ如シ予ノ執敵ニ
スホトギスノ ○一庭
一步ヲ避ケ將ニ挫敗セラレントス此ニ於テ運思
成ク杜鵑花而已ニハクニ
謀策萬死ヲ出テ一生ヲ得竟ニ勝ヲ奏スル
ツヤ ○綠樹清風 ○
ヲ得タリ戰罷ミ而メ酒ヲ呼ヒ相與ニ酣飲
時方ニ長夏青綠路
歡ヲ盡ス嗚呼奕碁ノ戲タルヤ小技ニ屬スト
ヲ夾ミ禽鳥和鳴ス○
雖敵ニ驕ル時ハ必ス敗ヲ取ル蓋シ天下ノ事
亂螢風ニ隨フ○詩ヲ
モ亦然リ予此ニ於テ感アリ録シテ以テ自ラ
吟シ歌ヲ詠ス○柳邊
戒ト云フ
螢ヲ撲チ○小塘芙蓉
納涼記

作女類編

芙蓉盛ニ開クハスノハトガ

三伏ノ暑矮屋其苦ニ堪フ可ララス乃チ親

○萬荷風ニ揺キ香ヲ

友ト某川ニ納涼ヲ謀リ薄暮ニ及ンテ扁舟

送ル○滿池媚ヲ競フ

ヲ儼ヒ流ニ随テ放ツ此身飄々トシテ塵世ノ外

○芙蓉艶ヲ逞フス○

ニ出ルカト疑フ漁燈點々汀煙洲渚ノ間ニ隱見

紅白波ニ映ス○仙葩

出沒シ萬頃ノ浩渺其景殆ント名状ス可カラ

○芳華ハス○風致高

ス須臾ニシテ一輪ノ玉兔東山ノ上ニ吐キ皎々

潔君子ノ名ニ愧ス

トシテ波面銀ヲ流ス詩ヲ吟スルモノアリ笙ヲ奏

ハスノハナ

スルモノアリ杯盤狼藉陶然トシテ皆醉ノ彼ノ

○炎暑者薰赫

東坡赤壁ノ興モ何ツ之ト異ナラシヤ此夜風

○雨霽テ頗ル涼シ

徐ニ来リ涼氣清爽ヲ覺フ爰ニ牽戀シテ去

○舟ヲ湖心ニ放ツ

ルニ忍スト雖時辰儀ヲ見ルニ時已ニ三更ニ過ク

ノナカヘ

遂ニ月光ヲ載セ棹ヲ鼓シテ還ル

○釣ヲ垂テ

鷗ニ馴ル○棹歌互ニ

觀蓮記

答フ○江平ニメ波ナ

千紫萬紅妍ヲ爭ヒ艶ヲ競フト雖寧シソ蓮ノ

シ○晴湖鏡ヲ如シ○

高潔出塵ノ風致ニ如シヤ時正ニ盛夏萬葉ノ

一葦ノ行ク所ニ随フ○

仙葩亭ヲトシテ水雲ノ郷ヲ擅ニス遠ク之ヲ

岸傍ノ萩花雪ノ如シ

望メハ嬌容眼ヲ遮リ近ク之レヲ觀レハ香氣

○絲綸ヲ投メ此巨鱗

紛々衣袖ニ滿ッ何者ノ黠子カ六郎ニ如スト謂

ヲ獲タリ

フヤ周茂叔之ヲ評シテ曰ク蓮ハ花ノ君子ナル

○汎々水中ノ鳧ノ如

モノナリト宜ナル哉

ク波ト上下ス○江ノ兩

秋夜散步記

岸皆ナ山○漁莊蟹

浴後涼ヲ逐フテ郊野ヲ過ク夜煙糝糊トシテ

舍遠近參差ヘアチライ

林樾ヲ封シ笛聲唳々トシテ遠村ニ起ル月朗

ニナル○一碧萬頃

ニ風清久影地ニ落チテ夜色皎々タリ路傍ノ

ヒロキ ○空水浩渺唯
一碧ヲ見ルニミ ○水聲
冷々ト ○月影水ニ
入り蕩揺定マラス
ウツリカゲガ ○煙霧溟々
ミシレル ○夕陽倒蒸
カテリカヘス
○岸ニ登リ漁戸ヲ叩
キ蝦蟇ヲ買ヒ酒ヲ命ス

秋草花開ヒテ香氛ヲ放ツ仰テ月華ヲ賞シ
俯テ蟲語ヲ聽キ高吟漫歩適ク所ヲ期セス
嗚呼我ヲ娛マシムルモノハ天地ノ活画圖ナリ蘇子
謂ヘルアリ之ヲ取テ禁スル無ク之ヲ用ヒテ竭キス
是レ造物者ノ無盡藏ナリト古人果シテ我ヲ
欺カス此夜ノ光景幽懷ヲ慰スルニ堪ヘタリ遂
ニ三更歸路ニ就ク

觀楓記

○網ヲ舉テ細鱗數枚
ヲ獲タリコサカチ
○水月
空明 ッキノミツミ
ウツル ○月明ニ
星稀ナリ ○清風朗月

秋色蕭然トシテ西風衣袖ヲ吹キ連日ノ牢
晴方ニ觀楓ノ好時節ナリ一日親友ヲ伴ヒ某山
ニ至ル四面ヲ眺望スルニ全山ノ楓葉爛然トシテ
霜ニ飽キ翠松斑々錦繡ヲ織ルカ如シ山麓ヲ

涼爽秋ノ如シ ○少間
月出ツ ○長煙一空皓
月十里浮光金ヲ躍ス
○一輪氷ノ如ク松樹ノ
間ニ突出ス ッキ
○涼風
ヲ迎テ欄杆ニ倚ル ○秋
色草間ニ溢ル アキノ
ナクサ
○月白ク風清シ ○秋
色氣佳ニメ景清シ ○
秋風益高ク暑氣益
衰フ ○野花露ヲ帶
フ ○美人寂寞疎籬ニ

瞰スルニ溪間ノ村落各處ニ散在シ田疇井
然トシニ棋局ヲ望ムカ如ク蜿蜒タル長流溶
々トシテ山脚ヲ絡ヒ之ニ往來スル所ノ舟楫
片々木葉ヲ泛フニ似タリ眼界千里浩トシ
テ涯リ無ク風景ノ絶佳画圖モ能ク彷彿
スル所ニ非ス比白ク快ナル哉此風景ヲ下
物トナシ宴ヲ開クハ如何乃チ齋ス所ノ酒肴
ヲ陳子互ニ酬酌歡賞ス已ニシテ暮色山ニ滿
チ返照映映シテ滿山為ニ深紅色ヲ為シ又一
層ノ奇觀ヲ加フ若シ小杜ヲシテ此景ヲ看ヤ
シメハ豈ニ帝車ヲ停メテ坐ニ愛スル而已ナラ
ンヤ既ニ新月山端ニ挂ル各行厨ヲ歛メ原路

立ッハナヲ美ハミ○莖々ニ就ヒテ還ル記シニ以テ予ト遊癖ヲ同フスル
艷ヲ爭フ○秋宵凄然者ニ告ク

看菊記

○蟲韻切々○群蟲
月ミ吐ク○白露團々
○蟪蛄鳴テ啾々○梧
桐秋早く芭蕉夜長
シアキノ○秋月皎々一
天雲翳ナククモシモ
月華的皦衣袖ノ間ニ
散落スツキノヒカリ○
涼郊墟ニルノヘノサロシ
○樓ニ倚テ吟望ス○
予頃日暇ヲ得兩三友ト共ニ某園ノ菊花ヲ看
ル此日ヤ秋晴一點ノ翳ナク乃チ筆硯ヲ携ヘテ
往ク園主引テ榻ヲ花壇ノ前ニ移シ具ニ花ノ
品評ヲ示ス園主菊花ヲ培養スル殊ニ巧ニシテ
其種類數十ニ至ル東籬ノ秋容更ニ溢レ淡
濃恰モ錦繡ノ如シ此ニ於テ積日勤學ノ勞ヲ
慰シ心氣甚タ快暢ヲ覺フ昔シ陶令ノ此花ヲ
愛スルヤ世ノ塵埃ヲ厭ヒ隱逸ノ心ヲ無情ノ草
木ニ托シ獨リ其身ヲ善クスルモノナリ今ヤ聖

小樓山ニ對ス○月ヲ
江上ニ待ツ○霜氣秋
ニ横フ○天高ク氣清
シ○秋高ク氣爽ナリ
○風露凄然○秋霜
降テ木葉落ッ○情ヲ

明ノ世ニ生レ驪虞ノ心ヲ以テ之ヲ看ル陶令ト
其趣ヲ異ニセリ少頃ニシテ園主酒肴ヲ供シ
頻ニ杯ヲ重テ紅潮顔ニ生ス各七絶一首ヲ
賦シ此日ノ樂ミヲ記ス已ニシテ夕陽西山ニ傾
キ棲禽巢ヲ覓ム予モ亦辭ヲ告ケ醉歩
蹒跚月光ヲ踏テ歸ル

宿山村記

丘壑ニ縱ニスアマビ○
霜葉却テ春色ニ勝
ルモミチハルノ○水ヲ隔
テ一林皆赤シ○楓林
掩映メ燦爛タリモミダノ
○山皆ナ霜葉彩雲

予一日山中ノ奇勝ヲ探リ竟日藜杖ヲ曳
キ頗ル疲ヲ覺フ因テ一ノ樵家ニ憩フ老夫
出テ曰ク此山ノ奇觀能ク一日ノ周フル所ニ
非ス曷影將ニ曛セントス此ニ宿シ明ヲ溪テ
又探ル可シ予意ニ樵家ノ趣モ亦佳ナリト

ノ中ヲ行クカ如シヤ
モチ○霜葉粲然ト
シテ人目ヲ眩惑スルカ
如シ○手ヲ拍テ歎賞
ス○紅葉ヲ聚メテ
酒ヲ温メ○顔已ニ紅暈
ヲ呈ス○東籬秋色

キクノ○萬金籬落○
瘦菊霜ニ傲ル○人生
意ニ適ヲヲ樂ト為ス
コトヲモモヒダス
ヨイ○獨リ笛敲
聞キ故園ノ情ヲ感動

遂ニ宿ス老夫予ノ為ニ別ニ精粲ヲ炊ントス
予辭シテ麦飯ヲ喫ス家屋溪間ニ架シテ
構造ス夜寒殊ニ甚シ爐ヲ擁シテ坐ス老夫
慇懃地方ノ奇事ヲ語ル已ニ寢ニ就ク落葉
蕭々トシテ破窓ヲ撲キ溪聲瀉々トシテ枕ニ
響キ熟眠ヲナスヲ能ハス

過古戰場記

夕陽馬頭ニ没シ幽禽啼テ寂寞タリ古墳
殘碑風雨ニ晒サレ古松老栢誰カ為メニ緑ナ
ル悲風淒涼吹テ休マス泉流鳴咽去テ還ラ
ス往昔百萬ノ兩軍虎爭龍鬪迭ニ雌雄
ヲ決セン處ナリ噫傷イ哉遠ク郷里ヲ離レ此

ス五ノコエニテフルサトノ○
コトヲモモヒダス
舊時ノ秋ヲ懷フ○夜
蛩鳴キ機杼促シ朔雁
叫ヒ音信絶ス
○月ニ乘メ歸ル○日西
山ニ薄ル○既ニシテ夕
陽山ニ在リ○浩乎ト

ニ會戰シ身白刃ニ觸レ矢石ヲ冒シ味爽枚
ヲ銜シテ斥候ヲナシ深夜篝ヲ焚キテ龍擊
ニ備フ苦辛艱難終ニ國ノ難ニ殉ス今日韃
虜ノ結果果シテ孰カ賜ソヤ覺ニス涙衣襟ニ
灑キ追懷去ルニ忍ヒス因テ携ヘシ一瓢ノ酒
ヲ以テ靈魂ヲ吊セント欲ス尚クハ鬚髯トシテ
来リ享ヨ

雨窓有感

メ歸ヲ忘ル
○花ヲ踏テ歸ル○夜
分ニ至リ乃チ歸ル○
遂ニ大醉メ歸ル○步々
別ヲ惜ム○詩ヲ留テ

雨窗寂寞トシテ簷滴ノ響琴瑟ノ如シ日
月ノ光ナキコト連日此ヲ以テ道路泥濘来客
甚タ稀ナリ獨リ燈前ニ枯坐シ無聊措ク
ト能ハス乃チ傍ノ一書ヲ取り之ヲ閱スルニ西

乃去ル○夜深々某南征討史略ナリ帙ヲ緘テ默讀稍久以為益
 氏ニ至テ宿ス○恍然ト郷隆盛ナルモノ賊名ヲ負ルト雖亦蓋世ノ英
 傑ニ非スマ當初王室陵夷政治弛廢國家
 夢ノ如シ○夙心ヲカ子テノ子カモ
ドホリニナリタ償フニ足レリ
 ○是ニ於テカ記ス○歸キ再ヒ皇運ノ隆昌ヲ效シ海内ノ名望ヲ一身
 來燈下ニ此記ヲ作ル○ニ集メ其忠烈偉績古來未タ曾テ有ラサル
 聊之ヲ記メ未タ游ハル所ナリ然ルニ末路一跌從前ノ偉勲ヲシテ其
 ル者ニ告ク○真ニ快躬ト共ニ朝ノ風露ニ付シ臭ヲ萬世ニ流スニ至
 事ナリ○是ヲ以テ記スル噫人事ノ轉變浮雲ノ如ク今朝ノ娛樂焉
 ○抑之ヲ聞ク○蓋之ソ來者ノ禍變ヲ期ス可ニヤ桑田變シテ滄海
 ヲ聞ク○蓋之カ為ナリトナル無限ノ感慨胸間ニ滿チ精神耿々トシテ
 ○是亦深ク歎ス可キ眠ニ就ク能ハス燈ヲ挑テ之ヲ記ス

送友人之東京文

ナリ○是難ト謂ハサ
 ル可シヤ○茲ニ復々贅我國文運日ニ進ミ月ニ盛ニシテ往ク所トシテ
 セス○何ノ謂シヤ○何庠序ノ設ケアラサルハナシ蜃現牧童ト雖咸ナ
 ヲ得可シヤ○何ヲ以テ學ニ就ク豈ニ昇平ノ德澤ニ非スマ是ニ於テ
 是ニ異ナラシ○何為學業少ク成ル時ハ去テ東都ニ游學シ切磋
 其レ然ルヤ○奚黽勉不ニ大成スル所アラントス如何トナレハ東都
 ルニ足シヤ○亦盛舉ナハ碩學鴻儒ノ淵藪ニシテ苟モ志ヲ立ルモノ皆
 ラスマ○亦難カラス○此ニ輻輳シ井蛙ノ陋見ヲ免カレントス殊勝ノ志
 又何ヲ怪マシ○又何亦感賞スルニ堪ヘタリ然リ而メ始アリテ終ヲ全
 不可ナラシヤ○豈フセス帝ニ學業成ラサル而已ナラス醜辱延キテ
 ナラスマ○豈父母ノ名及ホス寧ロ井蛙ノ嘲ヲ免カレント雖初
 ニ非スマ○豈メヨリ出ルナキノ優レルニ若カス蓋シ初メ鄉關

壤ノ差而已ナラス○出ルヤ盟テ曰ク苟モ學業ナラサレハ死ストモ
 果シテ然ルヤ否○宜復タ還ラスト既シテ都下ノ風習ニ漸染シ或
 ナル哉○嗚呼亦樂カ花ヲ北里ニ詠シ或ハ月ニ品海ニ嘯キ徒ニ學費
 ラスヤ○亦以アル哉○ヲ蕩盡シ當初ノ素志竟ニ朝ノ水泡ニ屬シ
 信ナル哉言乎○噫偉テ止ム近時青衿ノ情態比々皆是ナリト聞ク
 ナル哉○豈ニ日ヲ同ク豈ニ慨嘆ニ勝フ可シヤ君今父母ノ膝下ヲ離レ
 ヲ語ル可シヤ○豈ニ鑿遠ク東都ニ出テ精窮セントス君カ資性英敏
 ミナル可シヤニシテ素ヨリ學ヲ好ミ志操確乎拔キ易カラス

予君ヲ知ルノ厚キ決シテ斯ル所行ノナキヲ信ス
 夙夜孜々トシテ螢雪ノ功ヲ積ム他日ノ偉業
 刮目シテ俟ツ可キナリ古人行ニ驢スルニ言及
 テス予曩ノ一言以テ鍼規ニ備ヘント欲ス君夫

レ之ヲ紳ニ書スルヤ否遂ニ記シテ以テ祖道ス
 作文類編附錄終

作文類編附錄終

新刊類編

定價金八錢

明治十二年三月廿七日
出版
版權免許

史昇縣平民

著者 說田源三郎

日縣美濃國安部
今川淵村

日縣平民

出版人 三浦源助

日縣日國厚見郡
史昇米屋町



特34

161

大日本教育會館

第三室

自
函
架
號

一冊
三架
五西

東

行

孫三郎

作文類編

全

079112-000-9

特34-161

作文類編

說田 孫三郎/著

M12.4

DAC-3037

